

いしかわの自然と環境

エコナビ

2018
vol.17

Eco Navigation

特集

SDGSと企業

〜明るい未来のために私たちが今できること〜



小特集 白山開山1300年

地域資源の特色を活かした元気な里山里海づくり
〜現地活動事例の紹介〜

いしかわ生きもの図鑑 17 石川県内の希少種

エコナビ 17号 ■特集 ■SDGSと企業

公益社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議

いしかわの自然と環境

エコナビ

Eco Navigation
第17号 2018年3月31日発行



企画・発行

公益社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地

いしかわエコハウス内 県民エコステーション

TEL.076-266-0881 FAX.076-266-0882

URL : <http://www.eco-partner.net/>

e-mail : info@eco-partner.net



植物油インキを使用し、「水なし印刷」を採用した環境にやさしい印刷物です。

CONTENTS

- 2…………いしかわ生きもの図鑑⑰ 石川県内の希少種
 石川県生活環境部自然環境課
- 4…………特集 **SDGs と企業** ～明るい未来のために私たちが今できること～
 - ◆持続可能な開発目標 (SDGs) をめぐる国の動向について
 鈴木 克徳 [金沢大学教授]
 - ◆SDGsと経団連企業行動憲章の改定
 関 正雄 [損保ジャパン日本興亜株式会社]
 - ◆中部地方における企業のSDGsへの取り組み
 戸成 司朗 [住友理工株式会社]
 - ◆石川県の企業が取り組むSDGs
 中里 茂 [環境カウンセラー]
 - ◆大学におけるSDGsの取り組み
 新 広昭 [金沢星稜大学教授]
- レポート 第3回国連環境総会 (UNEA3) の成果について
 高橋 康夫 [環境省地球環境審議官]
- 20…………クローズアップいしかわ自然学校
 「次はどんな仕掛けにしよう」プログラムの企画に試行錯誤
 林 佑香 [NPO法人能登すずなり]
- 22…………**広げよう！ エコ活動の環！！**
 資源循環型農業の推進に向けて 牛ふんを利用した堆肥を製造
 橋 美智子 [株式会社河北潟うぎの里]
- 24…………**我がまち ECO レポート Vol.16**
 日常生活の中で環境への意識を高め、行動を変える
 細川 彩香 [津幡町環境水道部生活環境課]
- 26…………**能登の里海から③**
 何ととってもオイシイ里海
 福嶋 葉子 [能登島地域づくり専門員]
- 28…………**小特集 白山開山1300年**
 - ◆開山1300年を迎えた白山の自然と伝説
 石川県生活環境部自然環境課
 - ◆私たちの白山をいつまでも ～白山手取川ジオパークから～
 日比野 剛 [白山手取川ジオパーク推進協議会]
- 34…………**地域資源の特色を活かした元気な里山里海づくり** ～現地活動事例の紹介～
 石川県農林水産部里山振興室
- 36…………**いしかわエコデザイン賞2017**
 石川県生活環境部温暖化・里山対策室
- 38…………**ドイツ・フライブルク環境研修レポート**

～ エコネコと行く風の旅 ～



平成30年「環境カレンダー」(日本環境保護国際交流会発行)より転載しました。

石川県内の希少種

希少種とは

希少種とは、数や生息・生育地が減少し、絶滅の危機に瀕している種やその危機が増大している種のことです。絶滅の恐れのある野生生物をリストアップした石川県の「いしかわレッドデータブック」は、様々な開発や自然保護・復元を行う際の資料として活用されています。

特に保護が必要な種については、法律や条例によって指定され、捕獲や採取が原則禁止されています。国が指定した「国内希少野生動物植物種」259種（2018年2月現在）のうち県内では、9種の生息・生育が確認されています。また、県では、「石川県指定希少野生動物植物種」20種を指定しています。今回は、そのうちの3種を紹介します。

文と写真 © 石川県生活環境部自然環境課

ハヤブサ（ハヤブサ科）

国内希少野生動物植物種
いしかわレッドデータブック改訂版
絶滅危惧Ⅱ類
国レッドリスト2017
絶滅危惧Ⅱ類

石川県内で確認されている国内希少野生動物植物種（9種）

分類	種名（和名）
動物（鳥類）	イヌワシ
	クマタカ
	チュウヒ*
	ハヤブサ
	ヘラシギ
動物（両生類）	アベサンショウウオ
動物（昆虫類）	シャープゲンゴロウモドキ*
	マルコガタノゲンゴロウ*
植物（被子植物）	ホテイアツモリ

*先に県の指定希少野生動物植物種に指定されていたが、シャープゲンゴロウモドキとマルコガタノゲンゴロウは2011(平成23)年4月に、チュウヒは2017(平成29)年9月に新たに「国内希少野生動物植物種」にも指定された。



いしかわレッドデータブック

全長はオス約40cm、メス約50cm。翼を広げると約1m。鳥類の捕食者として海岸の生態系の頂点に位置する鳥で、北海道から九州までの海岸や小島の断崖などで繁殖しているほか、越冬のために大陸から渡ってくる個体もいます。県内では能登半島の海岸で繁殖が確認されており、近年は金沢市内のビルでの繁殖も確認されています。県庁では平成26年（2014）から毎年、雛が生まれ



石川県庁舎に営巣し、4年連続で繁殖しているハヤブサ

石川県指定希少野生動物植物種（20種）

分類	種名（和名）
動物（鳥類）	チュウヒ*
	コアジサシ
動物（淡水魚類）	トミヨ
	ホトケドジョウ
動物（昆虫類）	イカリモンハンミョウ
	シャープゲンゴロウモドキ*
	マルコガタノゲンゴロウ*
動物（クモ類）	イソコモリグモ
動物（両生類）	ホクリクサンショウウオ
植物（被子植物）	ウミミドリ
	オキナグサ
	エチゼンダイヤモンドソウ
	サドクマルユリ
	トキソウ
	サギソウ
	イソスミレ
	センダイハギ
	ヒメヒゴタイ
	トウカイコモウセンゴケ
イシモチソウ	



ハヤブサの幼鳥

ており、平成28年（2016）、平成29年（2017）は5羽の雛が巣立ちました（通常は3〜4羽）。県庁の建物がハヤブサの本来の営巣地である崖の環境に似ていること、周辺に緑が残され、ハヤブサの餌となるハトなどの小鳥がたくさん生息しているためではないかと考えられます。県庁のハヤブサについては、雛の映像も含め、県のホームページでご覧になれます。

イカリモンハンミョウ（ハンミョウ科）

石川県指定希少野生動物植物種
石川県指定天然記念物
内灘町指定天然記念物（現在は未生息）
いしかわレッドデータブック改訂版
絶滅危惧Ⅰ類
国レッドリスト2017
絶滅危惧ⅠB類



イカリモンハンミョウが生息する砂浜では、絶滅危惧Ⅱ類のハラビロハンミョウも見られます



イカリモンハンミョウは、本州では石川県でしか見られません

体長12〜15mmで、背中の白いイカリの形をした斑紋が特徴。幼虫は砂地に垂直に穴を掘って生活しており、成虫になるまで2、3年かかるといわれています。成虫は6月下旬から湿り気のある砂地に出現し、9月上旬まで見られます。石川県、大分県、宮崎県および鹿児島県に分布しています。県内では、かつて金沢市から志賀町まで広く分布していましたが、

オキナグサ（キンポウゲ科）

石川県指定希少野生動物植物種
いしかわレッドデータブック改訂版
絶滅危惧Ⅰ類
国レッドリスト2017
絶滅危惧Ⅱ類

現在は羽咋市と志賀町の約2kmの海岸に限られます。車の乗り入れや違法採集のため、絶滅の危機に瀕しています。

開花時の高さは10cmほど。開花期は4〜5月。果実は白色の毛を羽毛状につけ、風で飛びます。実の状態を翁（おじいさん）の髪に見立てて名付けられたといわれています。かつては、青森県から鹿児島県まで全国各地で見られましたが、現在、東京都や三重県、福井県では絶滅したとされ、他の府県でも絶滅危惧種に選定されています。日当たりのよい明るいスキ草原などに生育しますが、県内では加賀地域の河岸の極めて限られた場所にしか生育していません。園芸目的での採集が絶滅の要因の一つとなっていることから、行政、警察、市民らが協力し、生育地周辺での盗掘防止パトロールを実施

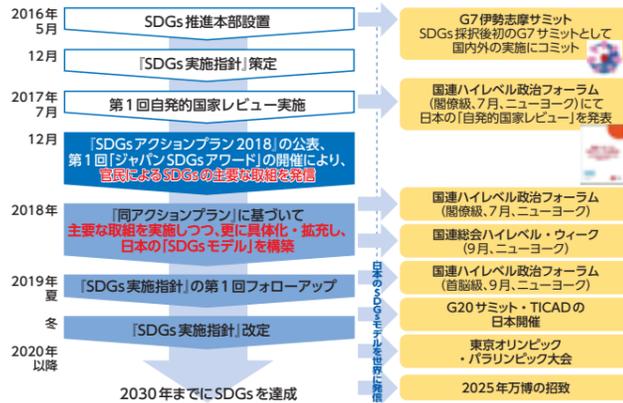


名前の由来になった特徴的な種子の形

しているほか、県白山自然保護センターや県立大、白山高山植物研究会などが協力し、種子保存や栽培などを行っており、白山ろくテーマパーク吉岡園地では、自生地で採集した種子から栽培したオキナグサを見ることが出来ます。

白山ろくテーマパーク吉岡園地
所在地／石川県白山市河内町吉岡西89
電話／076-1272-1363 7

問い合わせ先
石川県生活環境部自然環境課
電話／076-1225-1147 6



SDGs 実施のための短・中期工程表

持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針の概要

●ビジョン: 「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」
●実施原則: ①普遍性、②包摂性、③参画型、④統合性、⑤透明性と説明責任
●フォローアップ: 2019年までを目処に最初のフォローアップを実施。

【8つの優先課題と具体的施策】

①あらゆる人々の活躍の推進	②健康・長寿の達成
③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会	⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
⑦平和と安全・安心社会の実現	⑧SDGs実施推進の体制と手段

SDGs 実施指針の概要



第1回「ジャパンSDGsアワード」の表彰 (写真提供: 首相官邸ホームページ)

「SDGs推進円卓会議」をSDGs推進本部の下に設けました。さらに、政府全体としてのSDGs実現に向けた国家戦略を取りまとめるため、2016年12月にSDGs推進本部は「SDGs」実施指針を公表しました(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000252818.pdf>)。

実施指針は、まずビジョンとして、「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」ことを掲げ、その実現に向けて8つの優先課題と具体的

- <表彰の種類及び表彰の対象>
- 極めて顕著な功績があったと認められる企業・団体等
SDGs推進本部長(内閣総理大臣)表彰
 - 特に顕著な功績があったと認められる企業
SDGs推進副本部長(内閣官房長官及び外務大臣)表彰
 - 特筆すべき功績があったと認められる企業・団体等
特別賞「SDGsパートナーシップ賞」
- <第1回表彰企業・団体等一覧>
- 【SDGs推進本部長(内閣総理大臣)表彰】
- 北海道下川町
- 【SDGs推進副本部長(内閣官房長官)表彰】
- 特定非営利法人しんせい
 - パルシステム生活協同組合連合会
 - 金沢工業大学
- 【SDGs推進副本部長(外務大臣)表彰】
- サラヤ株式会社
 - 住友化学株式会社
- 【特別賞「SDGsパートナーシップ賞」】
- 吉本興業株式会社
 - 株式会社伊藤園
 - 江東区立八名川小学校
 - 国立大学法人岡山大学
 - 公益財団法人ジョイセフ
 - 福岡県北九州市

第1回「ジャパンSDGsアワード」表彰団体

な施策の例を示しています。

- あらゆる人々の活躍の推進
- 健康・長寿の達成
- 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会
- 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
- 平和と安全・安心社会の実現
- SDGs実施推進の体制と手段

2017年12月には、SDGs推進本部は、「SDGsアクションプラン」を策定するとともに、第1回「ジャパンSDGsアワード」の表彰を行っています。

すでに経済界は、2017年11月に経団連企業行動憲章を改定し、SDGsの実現に向けて積極的に取り組む始めています。多くの自治体もSDGs実施計画の策定に取り組み始めています。私たちは、この実施指針を参考としつつ、SDGsの実現に向けた取り組みを進めることが期待されています。

2015年9月、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。2030年に実現すべき社会の姿を描き、それに至る道筋を示すものとして17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」を提示しています。SDGsは、おむね2030年までに達成すべき

具体的な行動目標を示しており、世界各国政府はもとより、世界の主要な企業や国際機関、NGOなど多くのステークホルダーが極めて熱心に取り組んでいます。

SDGsは、前身となるミレニアム開発目標(MDGs)と異なり、極端な貧困状態にいる人をゼロにするなど、誰も取り残さない(leave no one behind)こと、世界のすべての国が取り組むべき目標であること、改めて経済成長と社会、環境の一体性を強調している点に特徴があります。



第1回SDGs推進本部会合 (写真提供: 首相官邸ホームページ)

我が国におけるSDGs実現に向けた取り組み

我が国は、関係省庁が連携・協力してSDGsの実現に取り組むよう、2016年5月に内閣総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」を設置し、また、広範な関係者がSDGs実現に向けて議論するための

国連持続可能な開発目標(SDGs)について

持続可能な開発目標(SDGs)をめぐる国の動向について

文・写真◎金沢大学国際基幹教育院教授 鈴木 克徳

SDGsは、到達すべき目標と達成期限を示すものの、そのための具体的な達成方策を示していません。

各国政府は、そのために自国が置かれた状況を踏まえ、SDGs実現に向けた具体的な取り組みを明確化することが求められています。

特集 SDGsと企業 ~明るい未来のために私たちが今できること~

SDGsと経団連企業行動憲章の改定

文・写真 © 損保ジャパン日本興亜株式会社 CSR室シニアアドバイザー（明治大学経営学部特任教授） 関 正雄

SDGsとは何か

2015年9月、「持続可能な開発目標（SDGs）」が国連で採択されました。環境問題や貧困問題など、世界が抱える課題を解決し、包括的で持続可能な社会を実現するため、2030年までに達成すべき17の目標を示したものです。

SDGsの前身となる「ミレニアム開発目標（MDGs）」は、もっぱら途上国の貧困・開発問題に焦点を当てていました。それと比べると、SDGsは環境分野の目標も大幅に取り込み、バランスのとれた総合的な目標体系となるとともに、先進国・途上国を問わず普遍的に適用されるものとなりました。

もうひとつ、MDGsとの大きな違いは、策定プロセスに多くのステークホルダー（利害関係者）が参加したことでしょう。策定期間中、

なんと500万件もの意見・コメントが、世界中のあらゆるステークホルダーから寄せられたといわれます。

期待される企業の役割

国連の持続可能な開発目標と聞く、政府や国際機関が実施主体となるものと思いがちですが、SDGsには、その策定だけでなく実施においても、幅広い非政府セクター・民間セクターの積極的な参加が期待されています。とりわけ、企業については、SDGs採択文書のなかで、企業のもつ創造性とイノベーション力がSDGs達成には欠かせないと明記され、大きな期待が寄せられています。

SDGsの17の目標を見ると、「あらゆる貧困をなくす」「あらゆる年齢のすべての人に健康を」など、高い理想を掲げた目標が並んでいます。言うまでもなく、これを2030年



SDGs：2030年までに達成を目指す17の目標

までに達成することは容易

ではありません。対処療法的な取り組みではなく根本原因にまで踏み込み、政策、金融、企業行動、市場のルールから、消費者行動、人々の価値観に至るまで、あらゆる面ですべてのステークホルダーが連動した、社会全体としての取り組みが必要とします。その中心的推進力として、大きな変革をもたらす企業の力が期待されているのです。

企業の立場から見ると、こうした大きな社会変革を担うことは、同時に大きなビジネスチャンスでもあります。ある試算によると、

SDGsの達成に向けた取り組みで、少なくとも世界のGDPの10%におよぶ12兆ドルの新たな市場が生まれ、年間3・8億人の雇用が生まれると

いいます。こうしたことから、企業が事業戦略にSDGsを組み込む動きが、世界中のいたる所で大きな流れとなっているのです。

経団連企業行動憲章

改定の背景とポイント

日本でも、多くの企業がSDGsに着目し始めました。それを加速するのが、2017年11月に公表された経団連企業行動憲章の改定です。

企業行動憲章は、1991年に制定され、経団連会員企業の申し合わせ事項と位置付けられています。企業の主体的な取り組みを促すものですが、拠り所となる行動規範として日本企業の間で広く参照、活用され、大きな影響力を持っています。今回、7年ぶりに憲章および実行の手引きが大幅に改定されました。

筆者は改定タスクフォースの座長として、メンバー企業や経団連事務局の皆さんとともにこの作業に携わりました。今回の改定のポイントはいくつもありますが、最も重要なのがSDGsを全面的に取り入れたことです。企業は創造性とイノベーションを生かしてSDGs達成に取り組むべきであり、それは同時に企業

自体の成長にもつながるといえる考えがベースとなっています。具体的には、前文において企業が「持続可能な社会の実現を『牽引する』役割を担う」とうたい、また憲章・手引き全体を通して旧版に比べてより社会の変革を担う意志を強めた前向きなトーンで書いています。

企業行動憲章

—持続可能な社会の実現のために—

一般社団法人日本経済団体連合会
1991年9月14日 制定
2017年11月8日 第5回改定

企業は、公正かつ自由な競争の下、社会に有用な付加価値および雇用の創出と自律的で責任ある行動を通じて、持続可能な社会の実現を牽引する役割を担う。そのため企業は、国の内外において次の10原則に基づき、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしていく。

(持続可能な経済成長と社会的課題の解決)

1. イノベーションを通じて社会に有用で安全な商品・サービスを開発・提供し、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図る。

(公正な事業慣行)

2. 公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行う。また、政治、行政との健全な関係を保つ。

(公正な情報開示、ステークホルダーとの建設的対話)

3. 企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、企業をとりまく幅広いステークホルダーと建設的な対話を行い、企業価値の向上を図る。

(人権の尊重)

4. すべての人々の人権を尊重する経営を行う。

(消費者・顧客との信頼関係)

5. 消費者・顧客に対して、商品・サービスに関する適切な情報提供、誠実なコミュニケーションを行い、満足と信頼を獲得する。

(働き方の改革、職場環境の充実)

6. 従業員の能力を高め、多様性、人格、個性を尊重する働き方を実現する。また、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を整備する。

(環境問題への取り組み)

7. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件として、主体的に行動する。

(社会参画と発展への貢献)

8. 「良き企業市民」として、積極的に社会に参画し、その発展に貢献する。

(危機管理の徹底)

9. 市民生活や企業活動に脅威を与える反社会的勢力の行動やテロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底する。

(経営トップの役割と本憲章の徹底)

10. 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築して社内、グループ企業に周知徹底を図る。あわせてサプライチェーンにも本憲章の精神に基づく行動を促す。また、本憲章の精神に反し社会からの信頼を失うような事態が発生した時には、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たす。

方、169のターゲットレベルでは、企業は自社の事業と関連性の高く、より大きなインパクトを生む項目を中心に、自社の状況をふまえて選択し、優先順位をつけて取り組むものとなっています。

同様に、企業行動憲章も前文と憲章本文10カ条はすべての経団連会員企業に適用されますが、その精神の実現に向けては、各社が業種・業態



経団連企業行動憲章シンポジウムの様子

まで、実践に役立つ具体的な情報や取り組みヒントが満載です。今回の改定を機に、事務局のご尽力で、写真やコラムなども交えた親しみやすいものへと体裁も大きく変わりました。これらを有効活用して創意工夫を凝らし、大企業も中小企業も、自社に合った取り組みを主体的に進めていくことが重要です。

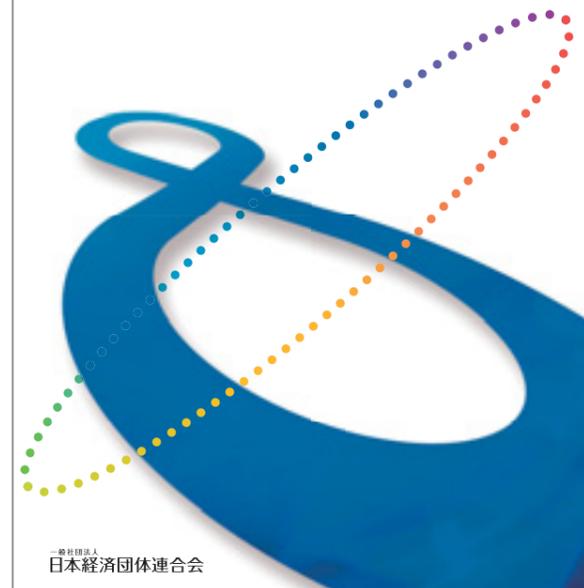
採択から2年で今や世界の共通言

事業の特徴、経営理念、実情や能力にあわせ実践していくものです。

今回、各社の実践により役立つよう165ページにおよぶ改定版「企業行動憲章実行の手引き」も発表しました（経団連のWEBページから全文ダウンロード可能）。手引きには、法令遵守に関わるものから、リスク管理として必要な事項、経団連が会員企業の自主的取り組みを推進している環境や労働に関する事項、さらにはベストプラクティスを

企業行動憲章

実行の手引き 第7版



企業行動憲章実行の手引きも大きく改定しました

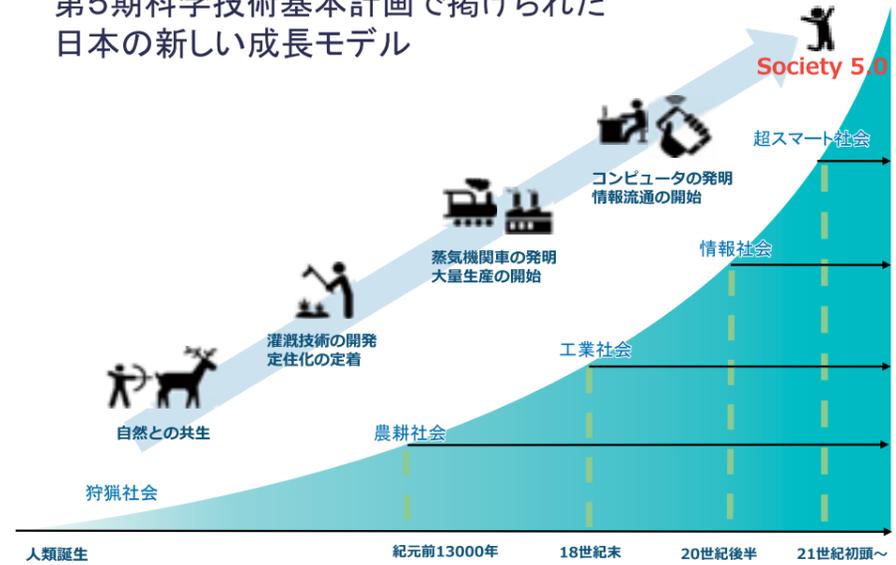


グループ幹部のSDGs研修（損保ジャパン日本興亜）

語となったSDGsを、その理念や根本原則を含めてよく理解し、大幅改定された企業行動憲章や実行の手引きを具体的な行動指針として活用しながら、持続可能で誰も取り残さない社会の実現をめざして、グローバル課題や地域課題への解決策（ビジネス・ソリューション）提供に多くの日本企業が挑戦してほしいと願っています。

- Society 5.0 -

第5期科学技術基本計画で掲げられた日本の新しい成長モデル



Society5.0のイメージ図

※Society5.0…狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぐ近未来の社会を指し、IoT（Internet of Things）やAI、ロボットなどの革新技術を最大限活用して、一人ひとりのニーズにきめ細かく応えながら社会全体を最適化することをねらった人間中心の超スマート社会。2016年1月に日本政府が閣議決定した第5期科学技術基本計画において提唱された。

憲章の第1条では、Society 5.0（※）の実現を通じてSDGsに貢献する、という考え方を打ち出しています。つまり、Society 5.0に向けたイノ

ベーションを通じて、健康・医療、農業・食料、環境・気候変動、エネルギー、安全・防災、人やジェンダーの平等などの社会的課題の解決と経済成長を両立させるうえで、企業はカギを握る存在なのです（イメージ

新設した条項のねらい

図参照。

また、改定憲章のもう一つの特徴は人権尊重を強調したことです。人権に関する第4条を新設して、サプライチェーンも含め人権侵害を起こさないこと、包摂的な社会づくりを通じて人権の増進に貢献することなどを企業に促しています。「誰一人置き去りにしない」というSDGsの基本理念を憲章に組み込んだものの、とも言えるでしょう。企業はビジネス機会としてSDGsを「いいことどり」するのではなく、人権侵害など社会に与えるネガティブインパクトの予防・緩和にもしっかりと取り組む必要があります。この点も忘れてはならない重要なポイントです。



ミャンマーでの農民向け天候保険の説明（損保ジャパン日本興亜）

グローバルな課題とローカルな実践

SDGsは17の独立した目標の寄せ集めではなく、ひとつの体系としてすべてが相互に関連しており、総合的にとらえる必要があります。一

中部地方における企業のSDGsへの取り組み

文・写真 © 住友理工株式会社 CSR部長(中部地方ESD活動支援センター企画運営委員) 戸成 司朗

はじめに

私は名古屋に本社を置く自動車部品メーカーの住友理工でCSR部長を務めています。また、中部地方ESD活動支援センターで企画運営委員を務め、企業の視点で持続可能な社会に向けて取り組んでいます。個人としても特定非営利活動法人中部プロボノセンター共同代表理事として、社会人のNPO支援活動を行っ



中部地方ESD活動支援センター主催の北陸研究会では講義をさせていただきました

ております。このたび、企業のCSR担当立場から、また、中部地方のESD活動を推進する立場から、企業のSDGsの取り組みと、中部地方ESD活動支援センターの活動について報告させていただきます。

「SDGsがもたらす「リスク」と「機会」

マスコミ報道によると、グローバル企業の90%以上がSDGsを意識し、70%以上がすでに取り組みを始めていると言われています。なぜ企業はSDGsに取り組むのでしょうか。SDGsは世界が2030年に実現したい社会であり、その意味では企業にとって羅針盤だといえるか、ではないでしょうか。具体的には、SDGsを基本に各国政府は法制化

の動きを強めるでしょうし、NGOをはじめとした市民はSDGsを踏まえ、企業を見る目が厳しくなっていくと思われれます。

企業は積極的にSDGsを意識した対応をしなければ、企業の持続可能性に赤信号が灯ります。これが「リスク」です。一方、SDGsを社会課題へのソリューション(問題解決)の機会と考え、各国政府が戦略的に動き、市民も環境や社会に配慮した製品やサービスを選択するエシカル消費を含め、真に豊かな社会に向けて行動する時、企業にとってビジネスチャンスが生まれます。これが「機会」です。

未来を見据えたビジョンを描く

企業は自社のバリューチェーン

をどう位置づけるのかだと思います。

CSRを日本語訳すると「企業の社会的責任」となりますが、企業にとっては「責任」と受け身に受け止めがちです。CSRの原語「Corporate Social Responsibility」のResponsibilityは

Response(応える)+Ability(能力)に分けられます。つまり、CSR経営は「企業が社会の期待に応える能力を高めること」であると考えれば、SDGsはCSR経営の未来指標であるといえるのです。

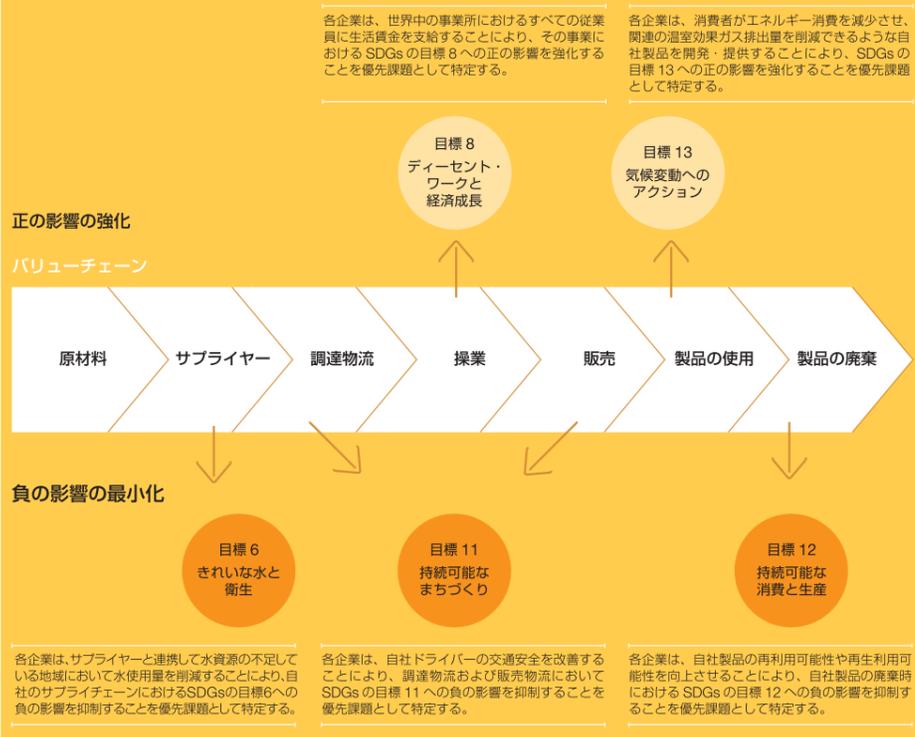
企業のCSR活動とSDGsとの親和性

中部地方ESD活動支援センターでは、学校教育でのESD(持続可能な教育開発)の取り組みに加え、

企業のSDGsの取り組みをESDの柱の一つの柱に据え、東海研究会と北陸研究会を「企業とSDGs」のテーマで開催いたしました。2017年12月20日に開催された北陸研究会では、富山県のYKKと福井県の清川メッキ工業に「企業が取り組むSDGs」というテーマで事例を発表していただきました。両者とも、SDGsとしての活動を意識して行ってきたわけではありません

が、今回の発表で改めてSDGsとの親和性を感じたようです。企業の持続可能性は持続可能な社会無しにはあり得ません。石川からSDGsの実現の発信を期待いたします。ぜひ一緒に取り組みましょう。

事例：バリューチェーンにおけるSDGsのマッピング



バリューチェーンにおけるそれぞれの領域で、各企業がSDGsの目標に即して「正の影響の強化」「負の影響の最小化」を優先課題とすることが求められています(「SDG Compass」日本語訳「SDGsの企業行動指針」より引用)



2017年12月20日にESD研究会が金沢で開かれました



YKKは、持続可能な社会づくりを目指す「パッシブタウン」の取り組みを紹介しました



清川メッキ工業は、キャリア教育を通じた成長の好循環を示しました



バイオマス利活用事業のイメージ



排水処理汚泥を炭化した肥料「肥炭粉」

金沢市の明和工業株式会社は、畜ふん、汚泥、野菜残さ等の有機物を炭化処理し、燃料または農業利用可能な炭化物へと転換するバイオマス炭化装置を製造・販売する、研究開発型の地元企業です。

近年、アフリカやインド、東南アジアなどでは急激な経済発展と人口増加が進む一方、廃棄物などの適正な処理が追い付いておらず、環境に悪影響を及ぼすだけでなく、農業や漁業の発展まで阻害する要因となっています。

これに対し、明和工業が有するバイオマス炭化技術はこうした問題解決に活用されています。例えば、イ

国際的な環境問題にバイオマス技術で挑む 炭化技術を通じて持続可能な社会を実現 〜明和工業が取り組むSDGs〜

またアフリカのケニアでは、地元自治体や国際協力機構等との連携事業を通じて野菜残さを炭化し、できた炭化物を周辺地域の農業用肥料として活用することで循環型社会の実現に取り組んでいます。

また、炭化技術による循環型社会の実現は、海外に限らず国内（特に石川県）においても実施されています。これまで産業廃棄物として扱われていた食肉処理場の排水処理汚泥を炭化し、自然肥料および土壌改良材として利用可能にした商品「肥炭粉（びったんこ）」は、2016年には「いしかわエコデザイン大賞」を受賞しています。

排水処理汚泥が自然肥料に生まれ変わる

またアフリカのケニアでは、地元自治体や国際協力機構等との連携事業を通じて野菜残さを炭化し、できた炭化物を周辺地域の農業用肥料として活用することで循環型社会の実現に取り組んでいます。

また、炭化技術による循環型社会の実現は、海外に限らず国内（特に石川県）においても実施されています。これまで産業廃棄物として扱われていた食肉処理場の排水処理汚泥を炭化し、自然肥料および土壌改良材として利用可能にした商品「肥炭粉（びったんこ）」は、2016年には「いしかわエコデザイン大賞」を受賞しています。



木の「めくもり」を取り入れた学校のパーティション

小松市でオフィスや工場・病院などに設置するパーティション（間仕切り）を製造しているコマニー株式会社は、モノづくりを通じて人と環境との関わりを大切にし、持続可能な社会を築いていくというCSR（企業の社会的責任）の方針のもと、SDGsで掲げる様々な目標に取り組みんでいます。

再生可能エネルギーの普及

地球温暖化を抑え脱炭素社会の実現を目指すため、本社工場の屋上に1920枚の太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの普及に努めています。



コマニー絆の森での森林整備活動(クロマツの植樹)



本社工場屋上に設置した太陽光パネル

快適空間・機能空間を創出するモノづくり

パーティションには、人がより良く働き、より良く学び、より良く生きるための快適な環境をつくる機能・効果があります。コマニーはパーティションづくりを通して人々や社会の進歩発展に貢献し、持続可能な社会の実現を目指しています。

パーティションで創出する持続可能な社会 〜コマニーが取り組むSDGs〜

います。

森林保全活動

2013年から始めた小松市の「コマニー絆の森」では、二酸化炭素を吸収し地球温暖化の防止にも重要な役割を果たしている森林の整備・保全を図るため、社員や家族等がクロマツの植樹や管理などに取り組んでいます。

カンボジア支援活動

水のインフラが整備されていないカンボジア農村部の人たちの生活を改善するため、2年前からカンボジア支援を始めました。安心できれいな水を提供するための井戸の設置や、次代を担う子どもたちに学ぶ環境をつくるため、本や本棚等の支援を行い、2018年1月には図書館も完成しました。



カンボジアの子どもたちに本や教材を支援

石川県の企業が取り組むSDGs

文・写真 © 環境カウンセラー 中里 茂

男女の区別なく活躍できる職場環境や教育の実現 ~金沢機工が取り組むSDGs~

県内企業ではいち早く環境問題に取り組む

金沢機工株式会社は、1946年に創業し、機械工具・機器など、生産財の販売を通じて北陸のものづくりに貢献する専門商社です。環境問題への取り組みでは、2003年8月に県内でいち早くKES環境マネジメントシステムを取得し、エネルギー使用量の削減、商社として環境に配慮した製品の販売・普及や太陽光発電の活用等に取り組んでいます。そして現在、環境改善活動だけでなく社会における様々な課題に対処

女性や外国人の力を職場に生かす

念のため、ISO26000の要素を取り入れたマネジメントシステムである「KESマネジメントシステムSR」の取得も目指しています。金沢機工は「企業は人なり」の理念のもと、人づくりに積極的に取り組んでいます。特に年齢・性別・国籍に関係なく活躍できる職場を提供する会社を目指して、外国人を正社員として採用するほか、ワークライフバランスの推進で男女が共に働きやすい職場環境づくりや、女性の能



KES環境マネジメントシステム登録証。KESとは、地球環境改善の取り組みに対して認証される規格です



取り組みは1、2、2SR、2Enの4つのステップで登録されます

能登の自然環境を守り育てる活動 ~のとしんが取り組むSDGs~



石動山での森林整備活動(植林)

自然の恵みを生み出す能登の森林を保全する

七尾市に本店を置く「のと共栄信用金庫(略称..のとしん)」は、能登のかけがえない環境を保全し、次世代を担う子どもたちに自然豊かなふるさとを引き継いでいくことは

企業としての社会的責任(CSR)であるとの考えから、金融機能を通じて積極的に環境問題に取り組んでいます。取り組みの一つである中能登町石動山での森づくり活動は2008年6月から始め、今回で20回目となりました。のとしんが森づくり活動を行う理由は、能登の自然環境への思いからきています。森林は自然(山、里、海)の恵みを生み出す源であり、地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素(CO2)を吸収する機能をはじめ、様々な公益的機能を持っています。しかし、森林の減少や手入れが行き届かず森林の劣化が進んでおり、地域密着型金融機関として森づくり活動(植林や枝打ち、下刈り、施肥等の管理)が必要との考えから、取り組みをスタートしまし

力を活かし活躍できるよう女性の様々なプロジェクトへの参画・活躍の推進などに力を入れていきます。



社員が講師となり勉強会を実施



他社女性社員との交流会

こうした取り組みに対し、2015年6月に金沢市から、女性が能力を発揮し働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる企業として「女性活躍促進モデル企業」に選定

た。また、2014年11月からは、能登島での「のとしま松林再生」にも取り組んでいます。

小学校児童に対する環境学習活動

のとしんでは、2009年から七尾市、中能登町の全小学校の6年生を対象に環境学習への支援活動を行っています。環境学習の目的は、子どもたちが地域の環境について関心



七尾サンライフプラザでの児童環境学習活動発表会



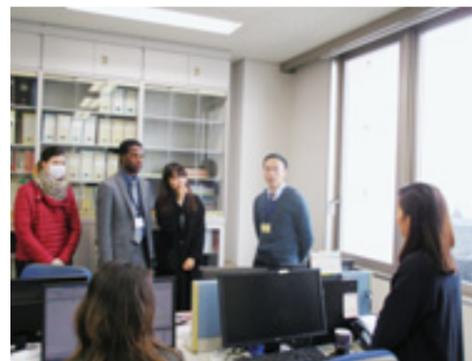
学習内容をまとめたパネル



を持ち、学ぶことを通じて環境保全の大切さを知ってもらい、自然を愛し人を思いやる心を育み、将来の地域社会の担い手となってもらうためです。今回で9回目となる児童環境学習活動発表会では15校の児童が1年間取り組んできた地域の環境保全や調査活動、エコ活動などの取り組みの結果が発表されました。



留学生交流会(外国人と一緒に料理づくり)



企業見学会

されました。また、2014年からは外国人留学生の社会人教育にも力を入れており、金沢市内の留学生を対象に、社会人、企業人としてのマナーやスキルを身につけてもらうための生活体験や職場体験の交流会を行っています。

大学におけるSDGsの取り組み

文・写真◎金沢星稜大学経済学部教授 新 広昭



石川県ではSDGsと深いかわりのあるESDの一環として、大学、行政、報道機関、地域住民のパートナーシップによる海岸保全活動「学生クリーンビーチいしかわ」が開催されています(主催・学生クリーンビーチいしかわ実行委員会)

大学におけるSDGsの先進的取り組み

持続可能な開発目標(SDGs)は、日本も国家戦略としてその推進に取り組んでいます。その総合的かつ効果的な推進のためSDGs推進本部が設置され、2017年12月には「SDGsアクションプラン2018」が策定されました。プランでは、

- (1) SDGsと連動した「Society 5.0」の推進
- (2) SDGsを原動力とした地方創生
- (3) SDGsの担い手である次世代・女性のエンパワーメント

以上の3点を政策の柱として掲げています。こういった政策のドライブングフォース(原動力)のひとつとして、大学の持つ教育・研究機能に対する大きな期待が寄せられています。

しかしながら、日本の大学におけるSDGsの取り組みは(2017年時点では)まだこれからといえる状況です。そのなかでも先進的に取り組んでいるのは、日本のSDGs研究の第一人者といえる慶應義塾大学大学院の蟹江憲史研究室、産官学連携によるSDGsの推進を掲げた金沢工業大学、全学でSDGsにコミットする岡山大学の3例です。それぞれの取り組みをホームページの情報を中心に紹介したいと思います。なお、金沢工業大学と岡山大学については、第1回「ジャパンSDGsアワード」(2017年12月)において、金沢工業大学が副本部長賞を、岡山大学がSDGsパートナーシップ賞を受賞しています。

慶應義塾大学大学院 蟹江研究室 「SDGsプラットフォーム」

このサイトでは、蟹江研究室の次の6カテゴリーの取り組みを紹介しています。

- ① SDSN: 持続可能な開発ソリューション・ネットワーク
- ② Future Earth: 持続可能な社会の構築を目指す新しい国際協働研究プラットフォーム
- ③ オリパラとSDGs
- ④ OPEN2030: 企業のSDGs促進を目的とした日本のイニシアティブ
- ⑤ 持続可能な開発目標(SDGs)からみた持続可能な消費と生産のガバナンスプロジェクト
- ⑥ キャンパスSDGsプロジェクト

このサイトのおすすめは、「SDGsとは何か?」という11分程度の動画です。蟹江教授がインタビュ形式で「SDGsの特徴とは何か、政府、企業、地方自治体はどのような活動を行っているのか、SDGs実現に向けて我々に求められているものは何か?」といった質問に答えるという内容です。SDGsを学ぶ上で参考になると思います。

金沢工業大学 「SDGs×ビジネス×地方創生×産官学連携」

「KIT SDGs Report」を大学のホームページにアップし、大学全体でのSDGsへの取り組みを情報発信しています。さらに、情報フロンティア学部の平本督太郎先生を中心とした産官学連携による地方創生に結びつくSDGsビジネスの創造への取り組みを紹介しています。

岡山大学 「岡山大学×SDGs」

岡山大学では、「SDGsに関する岡山大学の行動指針」のもと全学を挙げてSDGsに先進的に取り組んでおり、サイトでは次の3カテゴリーの取り組みを紹介しています。

- ① SDGsに関する岡山大学の行動指針と実績
- ② 岡山大学×SDGs取組事例集
- ③ 「大学でSDGsに取り組む」日本語翻訳版(2017・11)(※)

岡山大学の研究・教育活動をSDGsに関連付け(紐つけ)した事例集であり、他大学にも非常に参考になります。

SDGsと大学

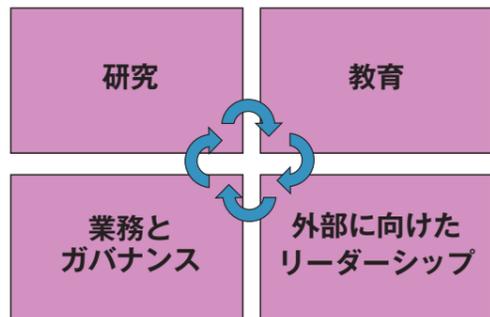
※「the Sustainable Development Solutions Network(SDSN) - Australia/Pacific. The Australasian Campuses Towards Sustainability(ACTS) および the global SDSN Secretariatとの協働」により作成された「GETTING STARTED WITH THE SDGS IN UNIVERSITIES」を、狩野光伸(岡山大学・日本学術会議)翻訳、SDSN Japan/蟹江憲史(慶應義塾大学・SDSN Japan)監修により作成されたガイドブック。

このガイドブックは、なぜSDGsが大学に関係するのか、大学はSDGsにどう貢献できるのか(図1参照)、SDGs統合のためのツールとガイドなど、大学がSDGsに取り組むための極めて有用な内容を含んでいます。大学関係者のみならず、大学との連携を志向している各主体の方にはぜひご一読をおすすめします。

おわりに

少子化の波の中、日本の大学は、地方創生、イノベーションの創発、若い世代へのエンパワーメントにその研究・教育機能を発揮していかねば、退場を命じられかねない存在になってきています。一方、地域社会もその活性化のために大学との

連携が欠かせないものとなってきています。こういった連携のための共通言語としてSDGsは極めて有効であり、大学におけるSDGsの取り組みが広がっていくことを期待したいと思います。



SDGsに関する研究
 ・学術的・学際的研究
 ・革新とソリューション
 ・国及び地域への実装
 ・研究能力向上

SDGsに連携したガバナンスと業務
 ・大学の報告に組み込む

持続可能な開発のための教育(ESD)
 ・SDGsを実装する仕事
 ・能力開発
 ・若者の動機づけ

社会貢献
 ・分野横断的な対話と行動
 ・政策立案と提言
 ・アカデミアの役割の提言
 ・アカデミアの貢献を示す

図1 SDGsへの大学の貢献の全体像
 出展: 「大学でSDGsに取り組む」日本語翻訳版p10、Figure2をもとに作成



日本政府代表のスピーチでは、5つの取り組みを発信しました

- ① 水俣条約発効を踏まえ、UNEP等と連携しつつ国際的な水銀対策に貢献していく。
- ② 昨年7月策定した「環境インフラ海外展開基本戦略」を踏まえ、途上国における廃棄物処理等の環境インフラ導入促進に貢献していく。
- ③ また、各国の環境政策の責任者が集まる総会は、コミュニケーションを図る良い機会です。今回も、

今回の会議の結果として重要と考えられるのは、海洋ごみ問題について、国際的な取り組みを議論する場（専門家グループ会合）が設定されたということです。検討の結果は次回のUNEA4に報告されたうえで、今後の方向性についてさらに議論されることとなります。この課題に対する関心は高く、ケニア政府がプラスチック袋の禁止



UNEA3では多くの決議が採択されました。次回の開催は2019年3月です

我が国からの発信

会議では各国代表からの各4分程度のスピーチがありました。日本か

海洋プラスチックごみ及びマイクロプラスチックに対処するため、課題や対応策をさらに精査する専門家グループ会合を招集することが決定されました。

そして、次回会合（UNEA4）については、2019年3月11日から15日にかけて開催されることになりました。

- ① 持続可能な開発目標（SDGs）に政府を挙げて取り組み、環境と経済・社会の諸課題の同時解決を目指していく。
- ② アジア地域で深刻な大気汚染の改善のため、アジア太平洋クリーン・エア・パートナーシップ（APCAP）等の枠組みを通じて協力していく。
- ③ 海洋ごみ対策について、マイクロプラスチックのモニタリング手法の国際的な調和に向けた取り組みを含めて協力していく。
- ④ 水俣条約発効を踏まえ、UNEP等と連携しつつ国際的な水銀対策に貢献していく。
- ⑤ 昨年7月策定した「環境インフラ海外展開基本戦略」を踏まえ、途上国における廃棄物処理等の環境インフラ導入促進に貢献していく。

会議の成果を受けて

UNEP事務局長をはじめ、フィンランド、モンゴル、米国、イラン等の代表と、今後の協力の進め方等について個別に意見交換を行いました。

を最近法制化したことが話題になりました。日本は、一昨年のG7富山環境大臣会合でもこの問題を取り上げ、マイクロプラスチックの測定方法の国際調和にも主導的に取り組んでおり、それらの成果をもとに積極的に議論に参加してまいります。

レポート

第3回国連環境総会（UNEA3）の成果について

文・写真 © 環境省地球環境審議官 高橋 康夫

2017年12月4日から6日にかけて、ケニアのナイロビで「第3回国連環境総会（UNEA3）」が開催され、日本からは私以下、環境省及び外務省から職員が出席しました。本稿では、この会議の成果をご紹介します。今後の環境行政の展開について少しご説明いたします。

UNEAとは

国連環境総会（United Nations Environment Assembly, 以下UNEA）の主催者は環境問題を扱う国連機関である、国連環境計画（United Nations Environment Programme, 以下UNEP）です。UNEPは1972年に設立され、オゾン層保護のためのウィーン条約や生物多様性条約、最近では水銀に関する水俣条約等、環境条約の策定に大きく貢献してきました。

UNEAはUNEPの意思決定機

関であり、原則2年に1回、ナイロビにあるUNEPの本部で総会が開催されています。以前は58カ国の理事国で構成された管理理事会でしたが、2012年の国連持続可能な開発会議（リオ+20）において、193の国連加盟国すべてが参加する総会として開催されることが決まり、今回で3回目の開催になりました。

今回は、約160カ国から環境大臣や環境を担当する政府機関の幹部が代表として出席し、ホスト国のケニアからはケニヤッタ大統領が冒頭挨拶をしました。またUNEPのソールハイム事務局長（ノルウェー



UNEPのソールハイム事務局長（左）

の元環境・開発援助大臣）のほか、関係する国際機関の代表やNGOも参加しました。

UNEA3の成果

会議では環境保全の幅広い分野での課題について議論され、今回のテーマである「汚染のない地球へ向けて」という閣僚宣言が採択されました。この宣言は、大気、土地及び土壌、淡水並びに海洋の環境汚染の防止、緩和及び管理のための行動の拡大を約束するものです。

また、海洋ごみ、環境と保健などに関する14本の決議等が採択されました。特に近年国内外で関心の高まっている海洋ごみに関する決議では、

クローズアップいしかわ自然学校

いしかわ自然学校は、行政機関やNPO、民間事業者、指導者養成講座の修了生の有志からなる団体など、多くの、そして多彩な主体によって、年間400を超える数の自然体験・環境学習プログラムを提供しています。平成15年(2003)に開講したインストラクタースクールは、今期末までに214名が修了しています。修了生には実施団体で中心的な役割を果たす方や、インストラクター同志でチームを組んで活動を継続している方などさまざまな方がいます。

今回は、珠洲市の道の駅を拠点に様々な活動を展開する「NPO法人能登すずなり」の活動を紹介します。

「次はどんな仕掛けにしよう」プログラムの企画に試行錯誤

NPO法人能登すずなり 林 佑香

観光の企画提案を行う観光事業と、道の駅を拠点とした物産事業の2つが大きな柱です。

平成25年(2013)からは本格的に体験プログラムづくりをスタートし、年間を通してさまざまな体験プログラムを提案しています。

NPO法人 能登すずなりとは

NPO法人能登すずなりは能登半島の最先端、珠洲市の中心部に位置し、旧能登線珠洲駅跡地を拠点として平成20年(2008)に設立されました。豊かな地域資源を広く発信し、交流人口の拡大を図り、観光振興や地域経済の活性化を推進し、珠洲市の発展に寄与することを目的とした団体です。事業内容としては、



活動の拠点となる道の駅の「すずなり館」

初めての企画は「岩のり採り体験」

私は平成25年(2013)に入社し、体験プログラムづくりを任せられることになりました。当時は体験プログラムに関する知識もなく、手探りで企画を進めている状態でした。近隣団体の体験を参考にしながら、



当初は集客に苦戦した「岩のり採り体験」

初めての企画したプログラムが「岩のり採り体験」です。奥能登の冬の風物詩である岩のりを参加者が実際に採りに行き、成形・乾燥させてマイ岩のりを作る内容です。「これはこれまでどこでも実施されていないプログラムだ！」と自信を持って打ち出しましたが、集客で苦戦し、参加者は関係者が多く実質モニターツアーのようなものとなりました。さらに、のり採りは波が打ち寄せる海岸で危険と隣り合わせの作業ということもあり、参加者の安全確保にヒヤヒヤした記憶が今でもよみがえります。

いしかわ自然学校でプログラム作りを学ぶ

岩のり体験の企画と同時並行で、体験プログラムづくりのノウハウを学ぶため、いしかわ自然学校の支援でインストラクターによる指導を受けました。3回にわたる企画会議では、プログラム内容・運営、宣伝方法などを一から教わりました。それに加え、いしかわ自然学校主催のインタープリターセミナーに参加し、体験プログラムについて身をもって学習しました。



リピーターも多い人気イベント「つばきウォーキング」

いで群生地をめぐるウォーキングコースを設定しました。以前の経験から心配したのが参加者募集。チラシ配布のため市内外の観光施設へ足を運び、インストラクターの方々の協力のおかげもあり19名にご参加いただきました。

その後、企画したのが「つばきウォーキング」です。市花が椿であり、椿の魅力を発信したいという思

入社1年目の企画ということもあり、私にとって思い入れの強いイベントです。平成30年(2018)で5回目を迎えますがリピーターも多く、すずなりのウォーキングイベントとして定着しました。リピーター



珠洲市内の椿の群生地を歩いて回ります

が多いという嬉しさの反面、今後は参加者が飽きない仕掛けが重要となります。毎年頭を悩ます部分ですが、自分を試す意味で「今回はどんな仕掛けをして満足度を高めようか」と試行錯誤しています。イベントとともに私自身も成長し、年々満足度を高めていきたいと思っています。

今後の展開

現在、体験プログラムは岩のり採り、つばきウォーキングのほか、季

節に合わせて山菜採りやスキューバダイビング、刺し網・地引き網体験、キノコ狩り・りんご・梨狩り体験などを実施しています。

今後も「参加したい」と思っただけの魅力的なプログラムを提案し、「珠洲しかない」「珠洲だからこそできる」オリジナルポイントを付加した体験プログラムの企画・運営に努めていきます。

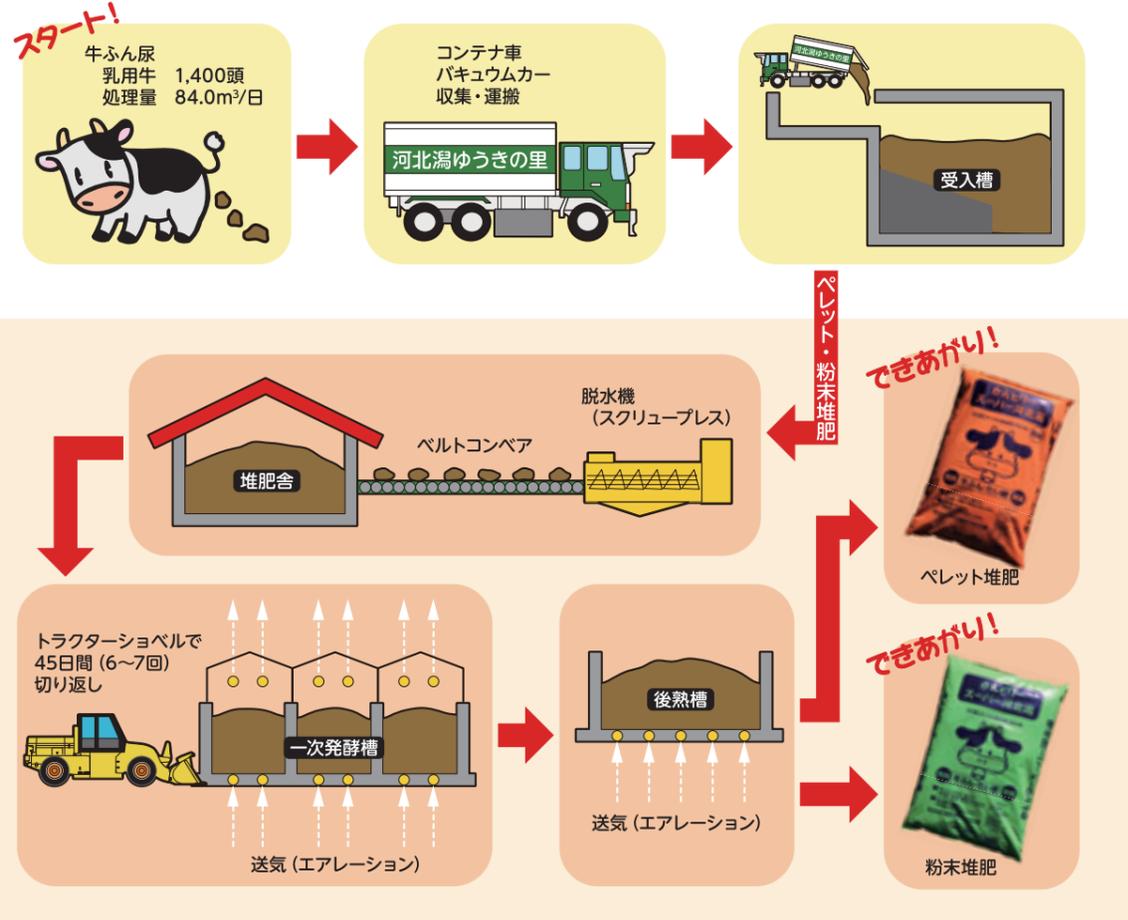


砂浜で行う地引き網体験など、珠洲の自然と四季を活かしたイベントを数多く企画しています

問い合わせ先

NPO法人能登すずなり
電話 / 0768-82-4688
メール / info@notohantou.jp

「かんとりースーパー河北潟」ができるまで



ありません。高温で発酵しているため、雑菌や雑草の種などは死滅し、安全にお使いいただけます。一般的な堆肥と比べて水分が少なく、固形分が70%もあるため、長期間肥料効果を持続します。

また、土壌改良の効果と有機質肥料の効果があり、含有している窒素の1割が速効性窒素（すぐ効く）、2割が緩効性窒素（2〜3ヶ月で効く）、7割が地力窒素（土に残り、次年度以降に効く）と



粉末タイプとペレットタイプのほか、300g入りの小さなサイズも

なっています。牛ふんと糞によって生産された堆肥は、土に通気性を持たせることができます。適度に固まった土の粒が集まり、その隙間に空気が入ること、野菜栽培に適したふかふかの土の構造（団粒構造）にしてくれるのです。「かんとりースーパー河北潟」は、環境にやさしい安全な農業の味方です。

地域と連携し 資源循環型農業を推進

自然に優しい土づくりをお手伝いすることは、人や生き物にとって住みよい環境づくりに繋がると信じています。これからも河北潟の環境を守り地域と連携した「資源循環型農業」を推進していきたいと思っております。

問い合わせ先
株式会社河北潟ゆうきの里
〒9920102 633
石川県河北郡内灘町字湖西274-12
電話 / 076-1288612 8844

約1400頭の乳牛が飼育されている 河北潟干拓地の酪農団地

みなさんは、河北潟をご存知ですか？ まるで北海道を思わせるような広大な大地が広がる河北潟干拓地は東京ドーム290個分、湖を含めると東京ドーム480個分の広さがあります。桜の並木道や黄金色に輝く麦畑、35万本のひまわり村、広大な牧草地やトウモロコシ畑が広がっており、他にもたくさんさんの農産物が生産されています。

河北潟酪農団地には17施設の牛舎があり、ここでは乳牛が約1400頭飼育されています。酪農団地で生産される生乳の量は、石川県内の全生産量の50・5%（9847t）を占めています。そして、酪農団地で



河北潟酪農団地。晴れた日には牧草の収穫作業が見られることもあります

発生する牛ふんを有機資源として有効に活用し、環境に配慮した持続性の高い農業、「資源循環型農業」に

資源循環型農業の推進に向けて 牛ふんを利用した堆肥を製造

株式会社河北潟ゆうきの里 管理課 橋 美智子

牛ふんの発酵と汚水の浄化に 微生物の力を活用

「河北潟ゆうきの里」は平成12年に河北郡内灘町で設立され、現在は20名の従業員がいます。河北潟酪農団地から発生する牛ふんは毎日80tから90t。それらを回収し、1年間に1万1000tの堆肥を生産しています。生産された堆肥の多くは、牧草地に専用の機械で散布し、牛の飼料となる牧草やトウモロコシの作付け、果樹や野菜の土づくりに利用されています。

また、閉鎖性水域である河北潟の環境を守るため、汚水浄化処理も行っています。堆肥を生産するための



株式会社河北潟ゆうきの里は、酪農地が広がる河北潟干拓地のほぼ中心に位置します

余剰な水を回分槽という大きな水槽に流し込み、微生物の力を活性化させて分解し、水をキレイにして放流しているのです。

高温発酵により 雑菌・雑草を抑え 水分の少ない堆肥を生産

生産している堆肥の種類は色々ありますが、今回は一般の方向けに袋詰めで販売している「かんとりースーパー河北潟」を紹介します。「かんとりースーパー河北潟」の特長は、牛ふんを微生物の力で高温発酵（80℃以上）させたもので、嫌な臭いは

日常生活の中で環境への意識を高め、
行動を変える

津幡町環境水道部生活環境課 細川 彩香



まちづくり美化大作戦では、朝早くから大勢の方が集まり、町内一斉に周辺のゴミ拾いや繁茂した草刈り等を行います

津幡町は、石川県のほぼ中央に位置し、古くから加賀・能登・越中の三国を結ぶ重要な拠点として栄えてきました。

町の約3分の2が豊かな緑に包まれており、その中には本州屈指の規模を誇る石川県森林公園があります。また、日本海側最大級の規模を誇る石川県津幡漕艇競技場を有する河北潟は、潟湖として県内一の広さを誇ります。富山県との県境には、木曾義仲が源平の合戦で「火牛の計」を用いたとされる俱利伽羅峠もあり、豊かな自然と深い歴史を身近に感じることができる町です。

町の取り組み

ポイ捨て等を防止し、ごみのない美しい生活環境の形成を目的として、平成24年（2012）に津幡町環境美化条例を制定しました。



町内で開催されている朝市にて、ポイ捨て等防止指導員が揃いのベスト・腕章をつけ、チラシ等を配布して啓発活動を行っています

ごみを資源に

津幡町では、多様化するライフスタイルと更なるリサイクル促進を図るため、平成21年（2009）、役場駐車場内に常設資源回収施設「レ



常設資源回収施設「レコ」。年中無休・24時間開設しており、多様化する町民のライフスタイルに合わせています

コ」を開設しました。「レコ」では、月に一度収集している容器包装・資源ごみのほか、新聞や雑紙などの古紙類、古着類も収集しています。常時開設しているため、年々利用者数は増加し、今では一日500人以上の方が利用しており、町内全体における容器包装・資源ごみ収集量の約7割を占めています。

また、生ごみ処理機器設置費用補助金、集団資源回収に対する奨励金交付など、ごみの減量化・資源化を推進する活動を支援しています。



太陽光発電及び蓄電池システムを搭載することで、停電時でも街路・避難誘導灯として活用できます

その他の活動

その他、道の駅「俱利伽羅源平の郷」には地球温暖化防止対策やエネルギー制約の高まりといった観点から、エネルギー効率が高く、二酸化炭素排出が少ない電気自動車用急速充電器の設置を行いました。

さらに、国のグリーンニューデール基金事業を活用し、災害による停電時の電力供給源となる太陽



電気自動車用の急速充電器。富山県との県境近くに設置されており、県内外から年間約460件もの利用がありました（平成28年度）

環境改善へ意識を高める

今を取り巻く様々な環境問題、資源枯渇問題は連日メディアで大きく取り上げられている一方、あまり実感が湧かない、自分には関係ないと感じている方も多いのではないのでしょうか。しかし、これらの問題は全て私たち一人ひとりの日々の生活によって生じている問題であり、言い換えれば、一人ひとりの意識・行動によって改善できる問題であると考えています。

津幡町では、少しでも問題改善できるよう、これからの様々な活動を通して尽力していきます。

問い合わせ先

津幡町環境水道部生活環境課
〒929-0393
石川県河北郡津幡町字加賀爪1-3
電話/076-1288-16701
FAX/076-1288-15646
メール/sakatsukankyou@town.tsubata.lg.jp

何といてもオイシイ里海

文・写真◎ 福嶋 葉子

「里海の豊かさ＝食」と言っても過言ではないだろう。これに反対意見はないのではないかと。私の住む能登島では、住人は自然の生簀を持っているようなもので、つまりスーパーマーケットに囲まれて生活しているようなものだ。中でも鮮魚コーナーの充実っぷりといったら。そう、里海は美味しい。

その里海の幸が日々の生活の中で家庭の食卓



能登島では干物も自家製。骨ごと全部食べられる



七尾湾では定置網が盛ん。待ちの漁法は環境にもやさしい

に反映されるのは当たり前だが、このところ産地で食を提供するという点について、静かな、しかし確実な流れがあるように思う。それは、プロの料理人からの里海への熱い視線である。飲食店を営む場合、単純に言えばお客さんは都市にいて、回転率がよい人口密集地、片や素材は田舎にあっても消費者がいない、さあどっちで勝負しますか、ということになる。これまで

は、ほぼ前者が常識だったであろうが、食に関するさまざまな環境が変わってきた現代においては、必ずしもそうでもないようだ。料理自慢の田舎の一件宿やオーベルジュ、農家レストラン、ベーカリー、居酒屋など、さまざまな形で田舎で独立起業する食関係者が増えてきている。さらに、単に料理を提供するという点にとどまらず、料理人や食に関わる職業者の持つ地域

への可能性、つまり食で地域を元気にする、というかなり現実的で直接的でわかりやすい志向が見えてくるようになった。特に若い料理人たちが、このミッションを実行しようと、どんどん能登にもやって来ている。

たものでできていて、美味しいものを食べると幸せになる。そう考えると、料理人はその一皿を生み出すという仕事で食べているから、働くことと食べていくことが近い。それを、この能登の里山里海のなかで実践するとなると、そのポテンシャルたるや想像できないほどのバリエーションを持つ。いまや、食を求めて人がわざわざ田舎を訪れることはほとんど当然なのだから、料理人が質の高い素材にいかに近いところ



川嶋亨さん。七尾市出身で、関西の名店で修行を積み、昨年Uターン。食で能登を元気にするため日々奔走中

で、いかに独創的で、しかも確かな技術力を持つて食を提供するか、という流れは必然なのだ。そのムーブメントが地域を元気にする。そんな志を持ってUターンした1人が、川嶋亨さん。温泉旅館で割烹の料理長を任されている。まず使いたい食材は鯛、という彼の料理は、繊細でダイナミックで熱い。次々と練り出される彼の皿には、料理が楽しくて仕方ないのである。その姿勢が載っている。これを応援していただけるだけの技量が、私たち里海の恩恵にあずかる側に求められている。

ふくしま・よんじ

能登島地域づくり協議会・地域づくり専門員。金沢市生まれで、実家は東山の三味線店。バックパッカーとして各国を訪れ、イスでのガイド経験あり。30代半ばで再び大学に編入し、卒業と同時に七尾市に移住。能登島の地域づくりに携わる。現在は「のと島クラシカ研究所」を立ち上げ、島の暮らしを受け継ぎ、引き継ぐための活動を行う。



大根おろしを使った2種類の川嶋流ぶり大根。お刺身(上)は朝どれを少し寝かせて、炊き物(下)は揚げ出しをみぞれ風にする



花の名山として知られる白山。白山ほどクロユリの大群落が見られる山はないといわれています



白山より西にはクロユリは分布していません

も人が植えたものではなく、標高や傾斜、雪の積もり具合や土の乾湿、様々な要因が絡み合い、微妙な環境

の違いにより、その場所の環境に適した高山植物がそれぞれ生育しているのです。

白山の山頂付近は、高山帯と呼ばれる背丈の低い植物しか生えない寒冷な環境です。日本には白山より西に白山よりも高い山がなく、白山は高山帯を有する山としては、日本の最西端に位置しています。高山帯を主な生育地としている高山植物も、白山より西で見られる種類は限られてきます。

室堂周辺で一面に広がるハイマツをはじめ、国内でも有数の規模で、白山以外ではこれほど大きな群落は見ることができないといわれるクロユリも、白山を分布の最西端としています。白山には約250種の高山植物が生育していますが、そのうちの100種を超える種が、白山をその分布の最西端としているのです。



大汝峰から見た御前峰(右)と剣ヶ峰(左)。池は翠ヶ池(左手前)、紺屋ヶ池(中央奥)、油ヶ池(右奥)

白山開山

1300年

開山1300年を迎えた 白山の自然と伝説

文・写真◎石川県生活環境部自然環境課

白山の火山活動

白山は、最高峰の御前峰(2702m)を中心に、大汝峰(2684m)、剣ヶ峰(2677m)をあわせた三主峰と周辺の山々からなります。現在の白山山頂付近での火山活動は、今から3〜4万年前に始まり、比較的噴火が頻発する時期と静穏な時期を繰り返しながら、何度の噴火によって現在の山の形が形成されてきました。

白山の山頂付近では「地獄と天国」を見ることが出来ます。柴山湯などの加賀地方の山麓から見ると優美でな

だらか、女性的な印象の白山の姿とは異なり、山頂付近は火山活動によって形成された荒々しい地形が見られ、過去の噴火で噴出、運ばれた巨石が点在しています。山頂付近の地獄を連想させる紺屋ヶ池、油ヶ池、血の池、百姓池などは、現在はきれいな水をたたえています。かつての火口に水がたまったものとされており、それこそ噴火の際には地獄のような状況だったにちがいません。一方、白山山頂付近には天国のような色とりどりの高山植物が咲き誇るお花畑が広がっています。白山の花は7月下旬から8月上旬にかけて一斉に開花します。お花畑と言っ

名前に「ハクサン」のつく植物

白山にちなんで名付けられた植物としては、ハクサンコザクラやハクサンフウロなどのほか、白山の最高峰である御前峰にちなんで名付けられたとされるゴゼン

タチバナなどがあげられます。その数は、標準和名として使われている植物だけで約20種にのぼります。ただし、これらのうち白山にのみ生育す



白山では、あちこちでハクサンコザクラの大群落が見られます

- ハクサンアザミ (キク科)
- ハクサンイチゲ (キンポウゲ科)
- ハクサンイチゴツナギ (イネ科)
- ハクサンオオバコ (オオバコ科)
- ハクサンオミナエシ (オミナエシ科)
- ハクサンカニコウモリ (キク科)
- ハクサンカメバヒキオコシ (シソ科)
- ハクサンコザクラ (サクラソウ科)
- ハクサンサイコ (セリ科)
- ハクサンシャクナゲ (ツツジ科)
- ハクサンシャジン (キキョウ科)
- ハクサンスゲ (カヤツリグサ科)
- ハクサンタイゲキ (トウダイグサ科)
- ハクサンチドリ (ラン科)
- ハクサントリカブト (キンポウゲ科)
- ハクサンハタザオ (アブラナ科)
- ハクサンフウロ (フウロソウ科)
- ハクサンボウフウ (セリ科)
- カライトソウ (バラ科)
- オヤマリンドウ (リンドウ科)
- ゴゼンタチバナ (ミズキ科)

白山にちなんだ名のつく植物。このほかにハクサンボク(スイカズラ科)がありますが、暖かい地方の植物で、白山には分布しません



白山信仰

白山は独立峰で周囲に高い山がなく、雪が降り積もり白く輝くその姿は、古くから北陸道や日本海を舟で旅する京の都の人々にも知られており、「万葉集」や「古今和歌集」などにも詠われてきました。

思ひやる 越の白山 知らねども
ひと夜も夢に 越えぬ夜ぞなき

紀貫之（古今和歌集 980）

消えはつる 時しなれば 越路なる

白山の名は 雪にぞありける

凡河内躬恒（古今和歌集 414）

山麓に広がるブナ林に降った雨が土にしみこみ、あるいは降り積もった雪が解け流れ出る水は山麓の田畑を潤すことから、白山は農耕の神として敬われてきました。また、その姿を遠くの家からも見ることができ、航海の目印になることから、航海の神としても崇められてきました。

白山は、富士山、立山とともに三大信仰の山として広まりました。石川県白山市にある白山比咩神社を中

心とする白山神社は、富山、福井のみならず、北は青森、南は鹿児島まで約2700社にもほります。

白山に残る泰澄の伝説

白山は越前の僧、泰澄が養老元年（717）に開いたとされ、平成29年（2017）は、白山開山1300年にちなんださまざまな行事が行われたほか、多くの白山登山者でにぎわいました。

泰澄の伝説は、白山のあちこちに残されています。その中に泰澄と3000匹の蛇の伝説があります。泰澄が初めて白山に登った頃、白山には凶悪な大蛇が多く住んでおり、住民を苦しめていました。泰澄は、その3000匹の蛇を法力をもって白山山頂に集め、白山の3か所、すなわち「蛇塚」、「千蛇ヶ池」、「刈込池」に封じ込めたとされています。

まずは、観光新道の標高約2000m付近にある「蛇塚」。最も凶悪な大蛇1000匹を切つて、地に埋め、その上に塚を築きました。次の大蛇1000匹は、山頂近くにある「千蛇ヶ池」に封じ込め、万年雪でふたをしたとされています。万が一、

雪が解けてしまった場合には、「千蛇ヶ池」の真上にある「御宝庫」が転がり落ちてきて池をふさぎ、蛇が出られないようになっていくそうです。

白山では唯一の万年雪が残る「千蛇ヶ池」ですが、雪が全て解け、湖面が全て現れたことがあります。平成10年（1998）のことです。この年は、異常に雪解けが早く、白山の山頂付近での雪解けは例年よりも約1か月も早まりました。それにあわせるように高山植物の開花も例年よりも約1か月早まり、例年なら7月下旬ごろ開花のピークを迎えるクロユリも、6月下旬に開花のピークを迎えていました。「千蛇ヶ池」に残る雪も日に日に解け、量が減っていき、ついには全て解けきってしまったのです。

この時には幸いにも（？）池の中には水の塊が解けずに残っており、大蛇が出てくることも、「御宝庫」が転がり落ちてくることもありませんでした。「千蛇ヶ池」の



白山を開いたとされる僧、泰澄が凶悪な大蛇1000匹を閉じ込めたとされる千蛇ヶ池。奥に御宝庫が見えます

雪が解けるほどではなかったものの、平成28年（2016）も例年よりも雪解けが早く、高山植物の開花は約半月早まりました。

これらの現象は、近年の地球温暖化の影響である可能性もあり、今後、白山の雪解けや高山植物の開花時期、分布などにも地球温暖化が影響を与える可能性もあります。しかしながらこれまで経験したことのないほど急激に地球温暖化が進んだ場合に、高山植物や高山帯に住む動物たちにとってどのような影響があるかについては不明なことも多く、継続してその変化をとらえることが必要です。そのため、環境省ではモニタリングサイト1000事業を白山でも実施しており、1000年間にわたる長期調査を実施する計画になっています。実

際の調査は、委託を受けた石川県白山自然保護センターが担当しており、気温や雪解け時期、高山植物の開花時期、ハイマツの成長量、チョウ類や地表徘徊性昆虫などについて調査しています。

さて、最後の1000匹の大蛇ですが、この大蛇は福井県の「刈込池」に封じ込めたとされています。刈込池はふたがあるわけではありませんが、三ノ峰の近く、剣ヶ岩に大きな剣を突き立てて封じ込めたとされます。蛇は黒鉄（鉄）に触れてしまうと身が腐ってしまうとされ、池に写る剣の影を恐れ、池から出ることができないのだそうです。

白山の外来種問題

石川県白山自然保護センターの調査により、白山にもオオバコをはじめとした外来種が侵入していることが明らかになっています。石川県では、平成16年（2004）から白山の自然を守り、後世へ伝えていくため、ボランティアの力を借りて外来植物の除去作業を開始しました。ここでいう外来植物は外国産のものだけでなく、本来そこには生育して



低地性の植物オオバコ。白山の山頂付近では外来植物となります

オオバコの実(左上)と、粘液を出してべとつく種子(左下)

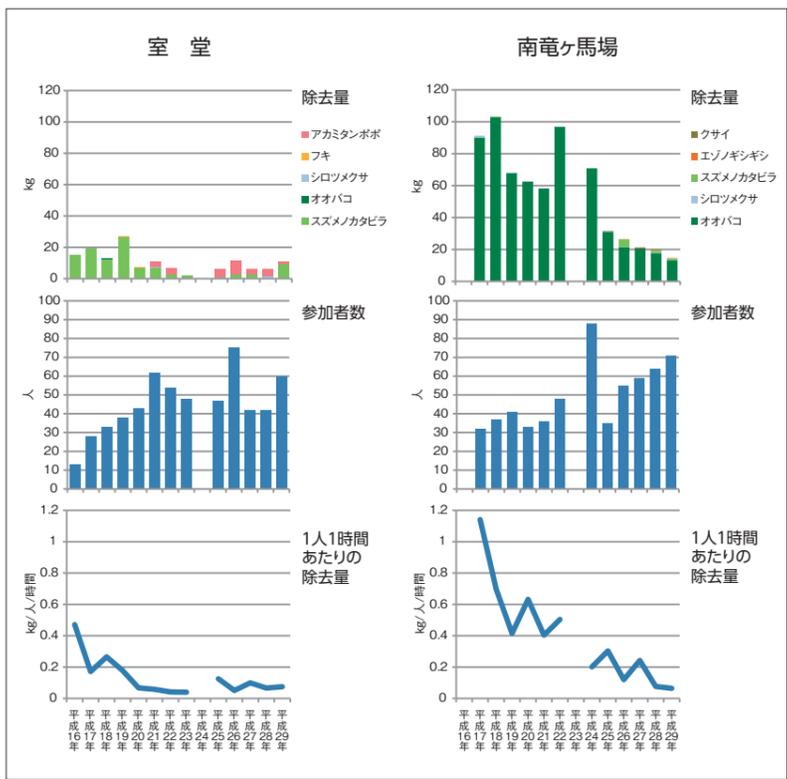
いなかった植物ということ、オオバコなどの低地の植物も該当します。現在は、環境省、農水省、国交省で定めた「白山生態系維持回復事業」によって、環境省のほか、石川県、NPO法人環白山保護利用管理協会がボランティアによる外来植物の除去作業を継続して実施しています。これまで、のべ約1200人のボランティアにより、オオバコ約650kg、スズメノカタビラ約110kg、セイヨウタンポポ類約30kgなど合計約810kgもの外来植物が除去されました。その結果、年々生育している外来植物の量が少しずつ減少して

きています。簡単にはいかない外来植物対策ですが、多くの方々の協力を得ながら成果が見られるようになってきました。

開山1301年目となる平成30年（2018）も外来植物除去作業の日程が決まりました。さらなる未来に向けて、白山の自然を守り、残していくための活動が始まっています。ボランティアとして協力していただいている皆さんの参加をお待ちしています。



南竜ヶ馬場野営場でのボランティアによる外来植物除去作業の様子



白山における外来植物除去作業これまでの成果。除去を続けてきたことによって、毎年の除去量が減ってきていることが分かります
※平成23年(2011)は南竜ヶ馬場、平成24年(2012)は室堂が荒天により中止



私たちの白山をいつまでも

白山手取川ジオパークから



文・写真◎ 白山手取川ジオパーク推進協議会 日比野 剛

白山はジオパーク

ジオパークという言葉聞いたことはありますか？ 白山を含む、白山市全体は、白山手取川ジオパークという日本ジオパークに認定されています。平成16年(2004)から始まった世界ジオパークプログラムは、平成27年(2015)にユネスコの正式事業となっています。平成20年(2008)には、国内版の日本ジオパークが誕生しました。平成30年(2018)1月現在、日本国内には8つのユネスコ世界ジオパークがあり、さらにそれを目指す35の日本ジオパークがあります。このように活動はかなり広がりを見せていますが、最近始まったものなので、まだ名前も知らない人が多いかもしれません。

ジオパークという言葉は、ジオと



国内ジオパーク分布図。日本中にジオパークが増えてきています

パークを組み合わせた造語で、ジオは地球や大地(地質、地形)を意味しています。ジオパークというテーマパークがあるわけではなく、ある一定範囲をエリアとして自然を保護・保全し、見どころとする国立公園のようなものをイメージすると分かりやすいかもしれません。特徴としては、大地のこと地質・地形的に貴重な場所や見どころがあることが基本になりますが、それだけでなく、その上に成り立つ動植物のことや人のことも含めて見どころとしています。

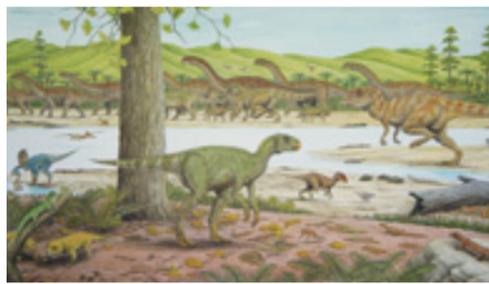


ジオ・エコ・ヒトの関わり。ジオとエコとヒトは密接に関わり合っています

大地の遺産を基本として、地域の様々な自然や文化的な資源を合わせてつなぐが理解し、それらの保護・保全活動に取り組み、教育活動やツーリズムなどに活用することで、持続可能な開発を進める地域がジオパークとなります。

白山手取川ジオパークの特徴

白山手取川ジオパークはその名の通り、白山と手取川に代表される手



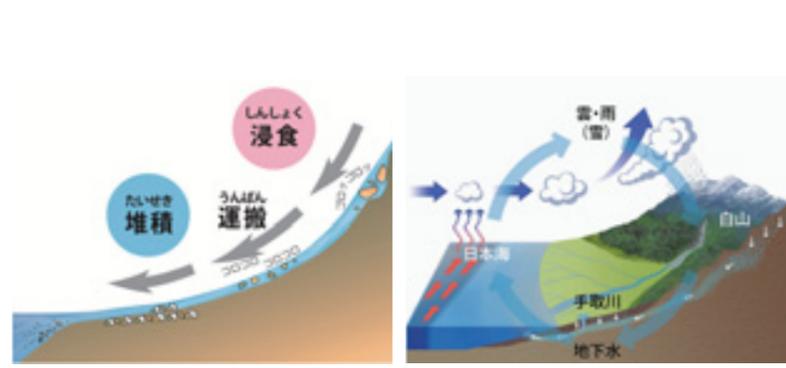
©ヒサクニヒコ イラストは桑島化石壁から発見されている動植物化石だけで構成されています。このなかに描かれていない化石もあります

このような過去の動植物の化石がなぜ発見されるのでしょうか。その地球の活動を考えた時、白山から手取川で考えると分かりやすくなります。キーワードは、「水の旅と石の旅」です。

手取川流域の特徴は、白山周辺域に降り積もる冬の大量の雪とそれによって豊富な水です。雪は徐々に溶けて水となり、水の流れる川となり海へと流れつきます。水だけではなく、手取川の河原でよく見る石ころや砂も、いっしょに流れています。その石ころや砂の元は、非常に崩れやすい白山周辺のもので、時々起こる洪水により、たくさん運ばれ、特に下流域でよくたまります。これが「水の旅と石の旅」というわけです。

この現象により生き物が埋まって、深い地下にもぐり高い圧力を受けたら、100万年、1000万年と長い年月が経ったりすると、骨などが化石となります。地下で化石になった後、再び地殻変動などで地上に顔を出したのが見つかった時、「化石発見!」となるわけです。

さらに、この現在の白山から手取川の特徴が、地域の様々な文化や自然とつながり、上流部から下流部ま



水の旅と石の旅のイメージ図

で全域をつなげてもいるのです。たとえば、積雪が多く山全体が真っ白になり目立つ白山は、ふもとから仰ぎ見られ、たくさん人の目に留まり、信仰へとつながります。多量に運ばれた石や砂が平野部にたまってできた手取川扇状地では、たくさん水が地下に染みこみ、伏流水を生みだします。その伏流水は酒造りなど様々な産業にもつながります。水の流れるは、海までたどり着

いた後、蒸発して大気となり、気流に乗って白山にぶつかると、雪や雨となって再び地上に戻ってきます。このように、過去から続く水の旅と石の旅は現在の手取川でも起こっていて、地域につながりや恵みをもたらしながら、ぐるぐると巡っているのです。



扇状地からみた冬の白山。白山は多量の積雪により、山全体が真っ白な時期が長く続きます



自噴する伏流水。美川地域では伏流水がたくさん湧き出しています

次の世代へ白山を

その他にもいろいろありますが、ここでは紹介しきれません。ぜひ、自分の目で白山手取川ジオパークを

訪れて確かめてもらえればと思います。その際のおすすめは、ガイドに案内してもらうことです。ジオパークでは公認ガイドの制度もあります。絶景だけでなく、なにげない風景に隠された大地の深い物語を、ガイドさんたちから聞いてみてください。開山1300年を迎えた白山が、こうしたジオパークの活動をおしこの地域とともに持続的にあり続けることで、100年後、1000年後と、また大切に思われながら仰ぎ見られたり登られたりし続けることを願っています。



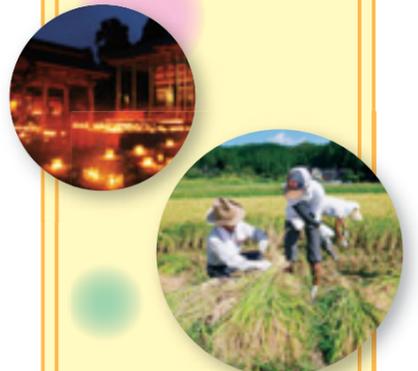
白山手取川地域の航空写真

問い合わせ・ガイド予約など
白山手取川ジオパーク推進協議会
電話/076-1274-19564
白山市観光連盟
電話/076-1259-15893



地域資源の特色を活かした 元気な里山里海づくり〜現地活動事例の紹介〜

石川県農林水産部里山振興室



多くの生き物にとって貴重な生息空間である里山里海は、生活様式の変化や過疎化・高齢化などの影響により、荒廃が進んでいるのが現状です。このため、県では、里山里海に人の手を入れ、活用することで、地域に新たな価値を創造し、その価値がさらに人を呼び込むという良い循環の形成に向け、地域の特色ある資源を活用した、元気な里山里海づくりを推進しています。

里山里海は、人がそこで生活をして初めて成り立つところであることから、集落にとどまって生きていくには、生活の糧を得るための生業が必要で

平成23年(2011)度に県と地元金融機関が資金を拠出して創設した「いしかわ里山創成ファンド」は、その運用益等を活用して、農業・非

農業を問わず、里山里海ならではの新しい商品やサービス提供を行う生業の創出や、住民自ら行う里山資源を活かしたイベント開催、里山の資源を活用した循環モデルの創出などを支援しています。

平成28年(2016)度からは、名称を「いしかわ里山振興ファンド」に改め、採択枠の拡大に加え、新たにスローツーリズムを推進し、来訪者が一日でも長く滞在できる多様なサービスの開発を支援しています。

今回は、平成28年(2016)度に採択したジビエ商品の普及を目指す「食工房ファミリーエ」と、耕作放棄地に羊を放牧して里山景観の保全に取り組み「白山麓羊推進協議会」の2つの事例を紹介します。

活動レポート①

ジビエの普及

平成28年度いしかわ里山振興ファンド採択
食工房ファミリーエ 大塚 信夫

近ごろ、イノシシが市街地に出没したり、畑が荒らされたりといったニュースをよく耳にすると、思います。そうならないように、毎年狩猟などで捕獲されていますが、県内のイノシシは減るどころか増え続ける一方です。また、捕獲されたイノシシの大半は廃棄されています。これは命を無駄にしているのではないのでしょうか。

私たちの生活のために捕獲は必要です。ですが、里山の「資源」でもあるイノシシを可能な限り有効利用することが、いただいた命に対する敬意だと思います。

当店では、これまで廃棄されてきたイノシシ肉をソーセージ等に加工して販売しています。イノシシなどのジビエ(狩猟された鳥獣の肉)は非常に美味しく、ジューシーな味わいです。機会があればぜひ一度ご賞味ください。

今後はますますイノシシによる農

作物の被害は増えていくでしょう。ですが、ジビエの市場が増える機会でもあると思って、前向きに取り組んでいきます。ジビエを食べることで農家さん、猟師さんを応援していきませんか。



お問い合わせ

食工房ファミリーエ
住所/石川県かほく市木津八90-1
電話/076-1205-6750

活動レポート②

羊の放牧で里山を保全

平成28年度いしかわ里山振興ファンド採択
白山麓羊推進協議会 山下 俊之

みなさん、「耕作放棄地」という言葉を耳にしたことはありませんか。現在、石川県内では農業従事者が減少し、かつて使われていた田畑が誰にも使われず、「耕作放棄地」となっており多く存在しています。

私たちはその耕作放棄地を有効利用するために、そこに羊を放牧し、白山麓の特産として売り出す試みをしています。羊の世話は牛や豚に比べて手軽にできるため、これから地域内で飼育を広げていきたいと思っています。白山麓の羊を昨年11月に「ジンスカン井」として試験的に販売したところ、とても好評でした。今後は一般の皆様にも食べていただくよう努力していきます。

里山には「緩衝帯」と呼ばれる、野生動物と人間との生活の境があります。近年、耕作放棄地が増えたため、それが徐々に失われてクマやイノシシなどが多く出没してきていますが、私たちによる羊の放牧で緩衝

帯を少しずつ取り戻していけるよう今後も取り組みを続けていきます。



お問い合わせ

白山麓羊推進協議会
住所/石川県白山市東二口卯1-17-1
電話/076-1256-7088

いしかわエコデザイン賞2017の受賞製品・サービス

大賞 風力式横風注意板

<製品領域> 株式会社日本パーツセンター (金沢市)

概要
道路沿いに設置する風力エネルギーを活用した注意喚起の表示板



評価点
風力エネルギーを活用し、風に対する注意が必要となるときにドライバーへ注意を促すことができる技術の評価

大賞 バイオディーゼル燃料 ReESEL

<サービス領域> 株式会社環境日本海サービス公社 (七尾市)

概要
家庭などから排出される廃食用油(廃棄される天ぷら油)から作ったバイオディーゼル燃料



評価点
地域住民などの協力も得ながら、地域全体で燃料を再生する仕組みを評価

(金賞・銀賞・銅賞)

賞位	製品・サービス名	受賞者	概要
金賞 (製品領域)	ベジタブルドーナツ	Richmond DOUGHNUT (金沢市)	規格外で市場に出回らない地元の野菜を有効活用したドーナツ
金賞 (サービス領域)	木質チップを活用した公衆浴場	有限会社ぼかぼか (野々市市)	公衆浴場の温水熱源を化石燃料から木質バイオマス燃料に変換した環境に配慮した取り組み
銀賞 (製品領域)	「花柿」、「柿酢」	西中農園 (能登町)	これまで廃棄されていた規格外の柿を有効活用した商品
銀賞 (サービス領域)	能登島の自然資源で日本画等の体験	能登島で未来の等伯さんになるう会 (七尾市)	能登島で採れる天然資源から作った顔料を用いた日本画等の体験を通じ、能登島の素晴らしさを知ってもらおうとするプロジェクト
銅賞 (製品領域)	スワンフード	株式会社イワモト (金沢市)	焼き肉店などのテーブルに設置する油や煙を吸う製品
銅賞 (サービス領域)	里山里海騎馬警備隊「おうままわり」	ストローク乗馬クラブはなむけ(珠洲市)	乗馬を楽しみながら、里山保全、害獣被害を防ごうとするサービス

(その他特別賞)

賞位	製品・サービス名	受賞者	概要
里山里海賞 (製品領域)	NOTOHIBAKARA ヒバシューキーパーと靴用スプレー	加賀木材株式会社 (金沢市)	能登ヒバの間伐材や破材を有効活用したシューキーパーと靴用スプレー
里山里海賞 (製品領域)	金澤葉書・金澤しおり・金澤しーる	株式会社クリエイターズ (金沢市)	能登ヒバの間伐材を有効活用した商品(葉書、しおり、シール)
資源循環賞 (サービス領域)	アースサイクル	株式会社アースプロジェクト (金沢市) 石川工業高等専門学校 (津幡町)	竹を主原料とした土壌改良材
パブリシティ賞 (製品領域)	金沢五彩 ICE POP	有限会社ぼかぼか (野々市市)	新鮮な地産品を利用したアイスキャンディ
フューチャー賞 (製品領域)	セキュリティコーン	株式会社イケガミ (小松市)	太陽光パネル、LED ライト、バッテリーを備え付けた透明タイプのカラーコーン

いしかわエコデザイン賞とは

「いしかわエコデザイン賞」は、低炭素(地球温暖化防止)、里山里海保全などの自然共生、資源循環(3R)など、環境保全に役立つ「石川発の優れた「製品(モノづくり)」「サービス(コトおこし)」を表彰する県の制度です。

この賞における「デザイン」とは、姿・形(意匠・装飾)ばかりではなく、製品やサービスを生み出すコンセプトや姿勢(戦略・企画・設計)なども幅広く含んでいます。

「いしかわエコデザイン賞 2017」受賞製品・サービス

今回、第7回目の開催となりました「いしかわエコデザイン賞2017」では、13件が受賞となり、昨年12月に石川県庁で表彰式を行いました。製品領域の大賞には、「風力式横風注意板」(株式会社日本パーツ



いしかわエコデザイン賞ロゴマーク

センター)が選定されました。この製品は、道路沿いに設置する風力エネルギーを活用した注意喚起の表示板です。審査委員からは、風力エネルギーを活用し、風に対する注意が必要ときにドライバーへ注意を促すことができる技術が評価されました。サービス領域の大賞には、「バイオディーゼル燃料 ReESEL」(株式会社環境日本海サービス公社)が選定されました。これは、家庭などから排出される廃食用油(廃棄される天ぷら油)から作ったバイオ

いしかわエコデザイン賞2017

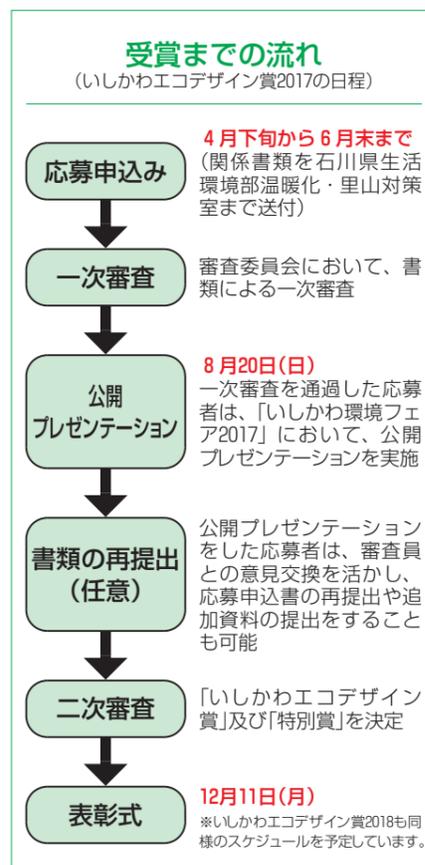
文・写真◎石川県生活環境部温暖化・里山対策室

ディーゼル燃料です。審査委員からは、地域住民などの協力も得ながら、地域全体で燃料を再生する仕組みが評価されました。

いしかわエコデザイン賞受賞製品・サービスの普及支援

いしかわエコデザイン賞を受賞した製品・サービスが普及することは、環境ビジネスの振興や地域のエコ化につながることから、県では、受賞製品・サービスの普及に、次のような支援を行っています。

- ① 製品、パンフレット等へのロゴマークの使用(無料)
 - ② 受賞製品・サービスの紹介パンフレットの作成、配布
 - ③ 県ホームページや動画配信サイトでのPR
 - ④ グッドデザイン賞の応募支援
 - ⑤ プロモーション映像の制作
- 今後も、本賞を通じて、環境保全に役立つ石川発の優れた製品、サービスの普及に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。



環境政策の王道を勉強する

文・写真 © 石川県地球温暖化防止活動推進員 坂野 利昭

フライブルクでは、環境先進地の名の通り一つ一つが納得できる環境への取り組みがなされています。研修では、用水路での小水力発電や間伐材の薪への有効利用など、自身の



エコステーションでの子供たちへの環境教育の様子



街へ出て実際の騒音源について勉強

環境への取り組みのプレゼンテーションもさせていただきました。今回は、研修で学んだ次世代への教育、自然エネルギーの活用、新たな環境技術の開発などについてご報告します。エコステーションではまず、子供たちに音（騒音）に対する学習を行い、実際に外に出て、町にある騒音発生源を体験しました。小さな時から環境教育を実施し、環境に対する意識を世代間で共有していくことの重要性を見ました。

次に案内されたフライブルク大学図書館は見た目の斬新さが特徴で、その正体は自然エネルギーを有効利用した省エネルギー。サンテラス構造のガラス窓から太陽熱を室内に効率よく取り込んでいます。屋上にはソーラーパネルの他に2つの換気システムが置かれ、排気口と入気口が並んだ熱交換器により、暖房エネルギーのロスを防止しています。さら



フライブルク大学図書館。複層ガラス窓の斬新な外観が特徴的



3枚の複層ガラスで抜群の断熱性能。2月なのに半袖の学生もいるほど

に年間通して約15度を保つ地下水を、冬の暖房、夏季の冷房に使用しています。

次世代エネルギー技術の取り組みとして見学した実験プラントは、屋根に設置したソーラーパネルの電力により水を電気分解し、取り出した

水素を加圧・液化したタンクに保存し、トヨタ「ミライ」に供給するというものです。実際に稼働している状態を見ることができました。

このように、フライブルクでは市民、行政、民間機関が高い志を持ち、教育、建設、開発等の各分野において環境問題に取り組む様子に触れ、「環境政策の王道を実践している」と感じました。今回の訪問でこのような高いレベルの活動を目の当たりにできたことは幸いです。今後の自身の活動に対し、新たな目標を設定し取り組んでいきたいと思えます。



トヨタ「ミライ」に、自然エネルギーで作られた水素を供給します

構内の井戸からくみ上げた地下水を天井や床に循環させています

子どもたちの意識を高める環境教育を体感

文・写真 © 石川県生活環境部温暖化・里山対策室 主任主事 村本 佳央

私は平成28年（2016）4月に初めて生活環境部に配属となり、その年に研修に参加する機会をいただきました。

環境教育を行っている「フライブルク・エコステーション」では、様々なプログラムの中でも特に人気の高い「廃棄物」をテーマにしたワークショップを見せていただきました。このワークショップでは、具体的に身近な事例を紹介しながら、簡単にゴミを減らすことができる工夫を伝



ゴミを減らすための身近な事例を紹介



上質紙と再生紙の製造過程に必要な資源とエネルギーの比較を説明



「フライブルク森の家」は地元のモミの木を使って建てられました

えます。環境意識の高いといわれるフライブルクでも、学校に水筒ではなくペットボトルを持っていく子どもが多いそうです。また、紙についても再生紙は上質紙と値段も品質もほとんど変わらないのに、再生紙を買う人がまだまだ少ないそうです。そのため、このような「廃棄物」をテーマにしたワークショップはまだ必要とのことでした。

最終日には、森をテーマにした自然環境教育を行っている「フライブ

ルク森の家」を訪問しました。子どもから大人までを対象とし、時間も半日から1週間までとプログラムも豊富にあり、特に夏休みなどは、子どもたちの遊び場になっているそうです。ここでは、自然環境に興味をもってもらうことだけでなく、森の中の団体活動を通じて得られる社会性を養うことも大事なテーマにしているとのことでした。

このような環境教育が広く行われているこ

とが、フライブルク市民の環境意識の高さに繋がっているのだと感じました。



子どもたちが作った木製ベンチ

ドイツ・フライブルク

フライブルクは、南ドイツのバーデン＝ヴュルテンベルク州の南西に位置します。

積極的な環境保全に向けた取り組みが評価されている「環境首都」です。石川県では、1999年からフライブルクとの環境交流を進めています。



県民エコステーションからのご案内

いしかわ環境フェア 2018

今年も環境フェアを、8月25日(土)、26日(日)の2日間、石川県産業展示館4号館(金沢市袋島町)で開催します。

この環境フェアは、環境保全の情報交換の場として、また、環境に関する様々な展示や体験を通じて県民一人ひとりが楽しみながら人間と環境の関わりについて理解を深め、循環型社会の形成に向けた取り組みなど、環境にやさしい暮らしについて、考え、実践していく契機となることを目的としています。

さらに、昨年に引き続き、「いしかわの里山里海展」等を同時開催し、里山里海がもたらすさまざまな恵みや生きものと共生していく大切さを発信し、人と人とのふれあいの場の提供や人と自然が共生できる暮らし、地球に優しい社会を提案する予定です。

いしかわ環境フェアホームページ
<http://fair.eco-partner.net/>



県民エコステーションについて

県民エコステーションは、21世紀のいしかわの環境を支える活動・交流・情報の拠点です。

県民エコステーションでは、

- ・エコクッキングや土曜環境サロンなど、参加・体験型の学習講座を開催しています。
- ・環境保全のための講演会等に講師を派遣しています。
- ・環境に関する図書等の閲覧や貸出を行っています。
- ・いしかわ自然学校の事務局として、本県の豊かな自然をフィールドとした自然体験プログラムを紹介しています。
- ・指定管理者として夕日寺健民自然園の管理を行っています。里山の恵みを受け、楽しみながら理解を深められるさまざまな活動を実施しています。



環境について、知りたい、学びたい、そして活動したい人をサポートします。

詳しくは

いしかわの自然と環境 えこナビ Eco Navigation

えこナビは(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議が発行する石川の自然と環境の情報誌です。

「SDGsと企業」の特集はいかがでしたか?

ぜひ皆様のご意見・ご感想を下記の県民エコステーションへお寄せください。

えこナビ
 第17号 2018年3月31日発行

発行 公益社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議
 〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地
 (いしかわエコハウス内) 県民エコステーション

監修 石川県生活環境部

編集 えこナビ編集委員会
 鈴木克徳(編集委員長・金沢大学国際基幹
 教育院GS教育系系長・教授)
 新 広昭(金沢星稷大学教授)
 横江 斉(公益社団法人いしかわ環境
 パートナーシップ県民会議会長)
 中里 茂(環境カウンセラー)
 福嶋葉子(能登島地域づくり専門員)
 河原圭吾(石川県生活環境部自然環境課
 自然共生グループリーダー)
 石和英史(石川県生活環境部温暖化・里山対策室
 企画推進グループリーダー)

協賛 北陸環境共生会議

表紙 ほんだじより

制作・印刷 株式会社橋本確文堂

●本誌記載の記事・写真の無断転載を禁じます。
 ●本誌記載の記事、えこナビについては県民エコステーションへお問い合わせください。

編集後記

今回は、「SDGsと企業」を特集としました。これから企業が自らの活動を世界的な視野の中でどのように「意識化」していくのかということが、きわめて重要だと考えたからです。

また、いしえの時代から生活、信仰、自然環境などさまざまな面で極めて大きな存在である白山が、昨年開山1300年を迎えたことから、「白山開山1300年」を小特集としました。ご一読いただいでいかげだったでしょうか？みなさまからのご意見をいただければ幸いです。

なお、長く「えこナビ」の編集委員長をお願いし、幅広い視点からのご助言やご指導をいただいた鈴木克徳先生には、このたび当地を離れられるということとを側聞しております。長い間本当にありがとうございます。紙面を借りて御礼申し上げます。

(横江 斉)

第11号から編集委員になり、今回で7回目になりました。今年度をもって金沢大学を定年退職することに伴い、編集委員も辞することになりました。で、今回が最後の編集委員としてのお勤めになります。7年にわたり編集に携わらせていただき、感慨の深いものがあります。

東日本大震災、気候変動パリ協定やSDGsの採択など、この間、環境問題を巡る世界的動向は大きく変化しました。気候変動問題はもう待たないの状況にまで来ています。

石川県としては、これまで里山里海問題や石川版環境ISOを始めとして、多くの分野で日本の環境政策をリードしてこられました。今後のますますの発展を祈念して、最後のご挨拶とさせていただきます。

(鈴木克徳)

会員募集中!

県民会議の活動の趣旨に賛同いただき、支援していただける団体賛助会員・個人会員を募集しています。

◆年度会員/団体(一口)2万円・個人(一口)2千円

会員になると、機関誌E-GAIA・えこナビの配布、研修室の無料貸出、各種行事の案内、環境関連情報の提供などがあります。

※このほか、時期を定めて開催する講習会や助成制度の申込み等については、ホームページやメールマガジンなどで随時ご案内いたします。

県民エコステーション
 (公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議)

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地(いしかわエコハウス内)
 TEL.076(266)0881 FAX.076(266)0882
 URL: <http://www.eco-partner.net/> e-mail: info@eco-partner.net
 開館時間: 午前9時~午後7時(ただし、日曜日は午後5時まで)
 休館日: 月曜・祝日・年末年始

『えこナビ』に参加しませんか?

『いしかわの自然と環境 えこナビ』では、読者の皆様からの「意見や」ご感想を募集しています。また、身の回りの環境や自然について、日頃感じていることや取り組んでいることなどについてもおたよりのぜひお寄せください。

左記の県民エコステーションへハガキや手紙、ファックス、電子メールでお送りください。お待ちしています。

※頂戴したご意見等は『えこナビ』誌面に掲載させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。